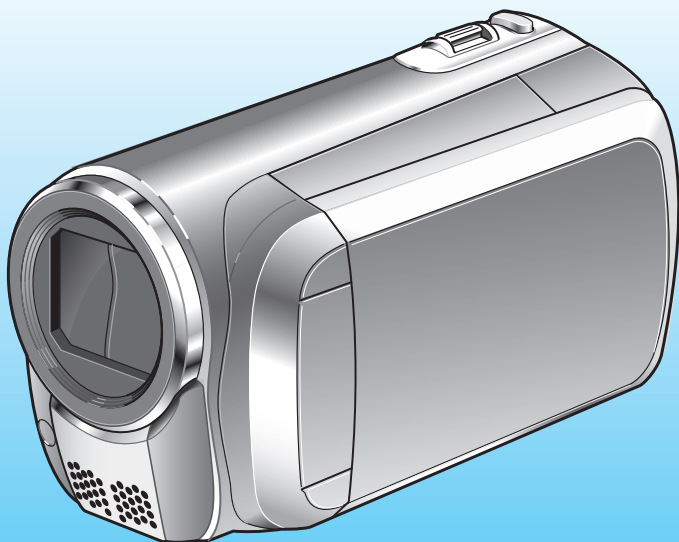
ビデオカメラ

型名 GZ-MS130

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

「安全上のご注意」(P.12)および、「使用上のご注意」(P.14)は、必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

DOLBY DIGITAL STEREO CREATOR

ユーザー登録のおすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の提供サービスなどをご利用いただけます。

http://www.victor.co.jp/reg/

準備

撮影・再生

編集・保存

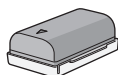
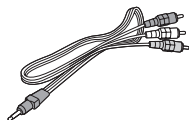
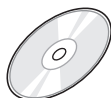
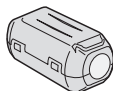
DVD作成

メニュー

困ったとき

かんたん撮影ガイド

付属品を確かめましょう

万が一、不足品や不良品がございましたら、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

■別売アクセサリーについて ➡（P.103）

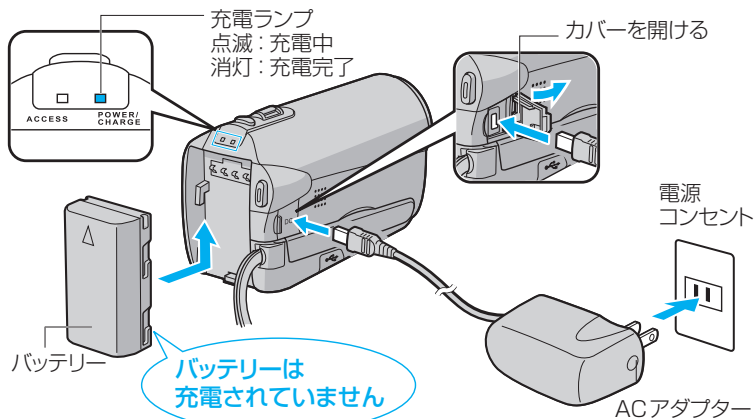
画像は内蔵メモリーに記録されます

SDカードに記録することもできます。　■SDカードに記録するとき ➡（P.28）

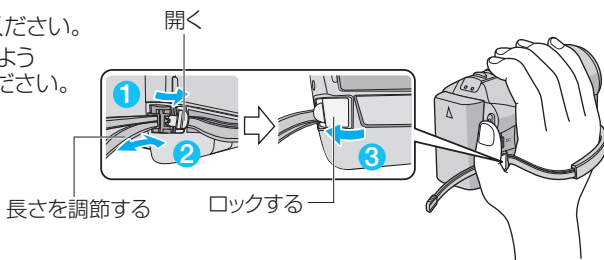
撮影した動画や静止画は、こまめに保存しましょう。

データの損傷や消失に備えて、パソコンやDVD、ビデオ機器などに保存（バックアップ）してください。➡（P.55）

まずはバッテリーを取り付け、充電します。
続いて、次のページで時計を合わせましょう。

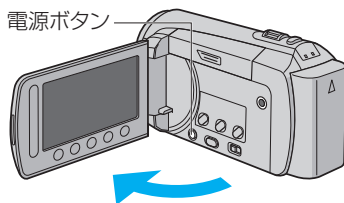
撮影前に充電しましょう

必ずビクター製のバッテリーをお使いください。
ビクター製以外のバッテリーをご使用になると、安全面、性能面について保証いたしかねます。

構えてみましょう

・必ずロックしてください。
・本機を落とさぬよう
　十分にご注意ください。

時計を合わせましょう

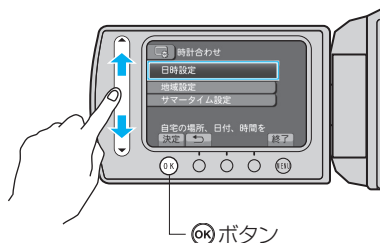
❶ 画面を開きます

・電源が入ります。

10秒以内

❷ スライダーを指でなぞって「はい」を選び、OK をタッチします

•メッセージが消えてしまったら、電源ボタンを２秒以上押して電源を切り、再び電源ボタンを２秒以上押すと表示します。

•爪や手袋などでは操作できません。

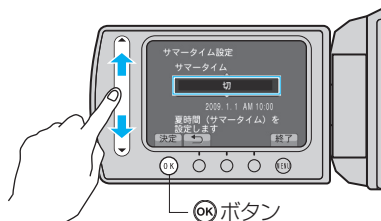
❸ スライダーで「日時設定」を選び、OK をタッチします

お知らせ　●時計を設定すると、「時計を合わせてください」のメッセージは表示されません。

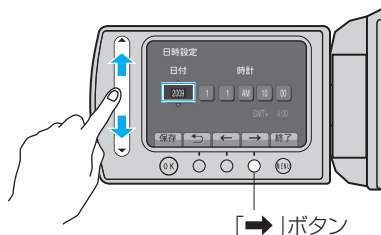
撮影の前に、時計を合わせます。
続いて、次のページで動画を撮影しましょう。

4 スライダーで「+09：00」に合わせ、OKをタッチします

•ご使用になる地域の都市名を選びます。(日本では、左図のとおり)

東京、ソウル
+09：00

5 スライダーで「切」に合わせ、OKをタッチします

●サマータイムが実施中の地域では
➡「入」を選ぶ
●前の画面に戻るとき
➡「⮌」をタッチする
●あとで時計を合わせるとき
➡「終了」をタッチする

6 スライダーで西暦を合わせ、「➡」をタッチします

•同様に、月日と時刻を合わせます。

7 設定が終わったら、OKをタッチして決定します

■海外で使うとき ➡(P.25)

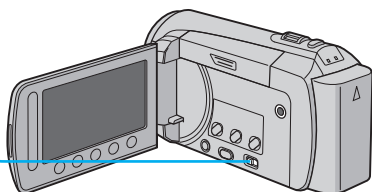
■サマータイムとは ➡(P.87)

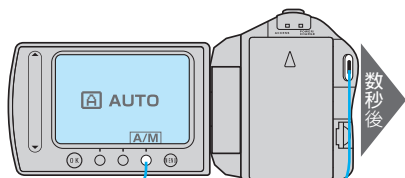
撮影しよう!

大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

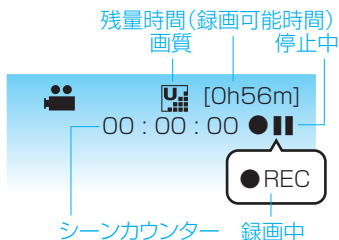
まずは、簡単な「オート」で撮影しましょう。
すべて自動で設定され、面倒な操作は必要ありません。

1

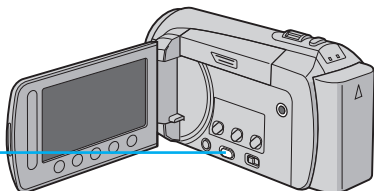
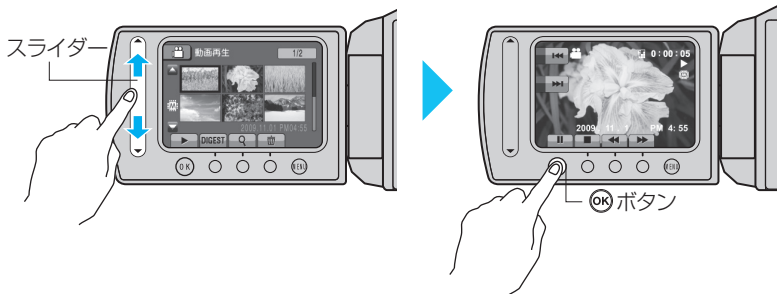
スライドして動画(🎥)を選びます

2 A/Mを何度かタッチし、Aを表示します

•押す度に、オートAとマニュアルMに切り替わります。

3

押して撮影します

•押すと、撮影を始めます。
•もう一度押すと、撮影を終えます。

再生しよう!

1 PLAY /REC **押して、再生画面を表示します**

•押す度に、撮影と再生に切り替わります。

2 スライダーを指でなぞって見たい動画を選び、OKをタッチします

■テレビで見るとき ➡(P.49)

■早送り、早戻しなどをするとき ➡(P.36)

- **画面を操作するとき**

  ➡画面周囲のボタンやスライダーに指でタッチします

  •爪や手袋などでは操作できません。

  •画面内の表示に触れても動作しません。

- **撮影したら、こまめに保存しましょう!**

  ●ビデオ機器にダビングするとき➡(P.56)

  ●DVDに保存するとき➡(P.60)

  ●パソコンに保存するとき➡(P.73)

もくじ

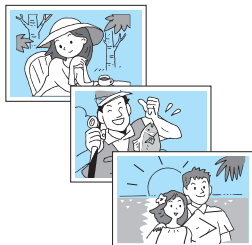
確認する

■本書のアイコン
🎥は動画モードの、
📷は静止画モードの
機能をあらわします。

準備する

もくじ(つづき)

DVDをつくる

DVDライターで

パソコンで

■付属ソフトのお問い合わせ先と取扱説明書の見かた
➡(P.102)

メニューを使う

困ったとき

日常のお手入れ

●お手入れの前に、バッテリーやACアダプター、電源プラグをはずしてください。

本体	●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。 ●汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。 <ご注意> ・ベンジンやシンナーは使わない。(損傷や故障の原因) ・化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。 ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。
レンズ・液晶画面	●市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。 (汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因)

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意　感電注意

禁止されていること

禁止　分解禁止　ぬれ手禁止　水場での使用禁止

実行して欲しいこと

一般的指示

警告　「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- プラス(+)とマイナス(−)のまちがい
- 金属物(ネックレス、ヘアピンなど)といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温(60℃以上)になる場所に置く

・誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・バッテリーを持ち運ぶときは、必ずバッテリーキャップをしてください。

分解禁止

分解・改造をしない

・火災や感電の原因になります。

一般的指示

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

禁止

付属のACアダプター以外は使用しない

・火災や感電、故障の原因になります。

一般的注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない

・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

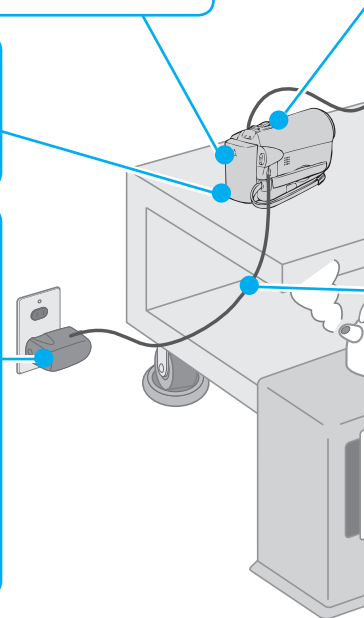
ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因になります。

感電注意

雷がなったら、電源プラグには触らない

・感電の原因になります。

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

禁止

内部に物を入れない
・SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止

レンズを直射日光などに向けない
・集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

禁止

乗り物を運転中に使用しない
・交通事故の原因になります。

水場での使用禁止

雨や雪が降る中やふろ場など水滴がある場所で使用しない
・本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。
・水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。

注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

一般的指示

5年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

一般的指示

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う
・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。

一般的指示

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

一般的指示

長時間使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。

禁止

湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

禁止

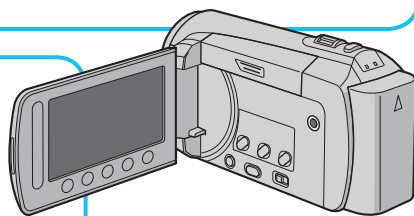
熱源の近くでは、使用しない
・火災や故障の原因になります。

使用上のご注意

本機について

- 精密機器ですので落下や振動・衝撃を与えないでください。
  記録や再生ができなくなります。
- 本機とリモコンを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
  高温になると、内部の電池が破裂することがあります。
- 本機に内蔵されたメモリーと、市販のSDカードに記録できます。
  データ保護のため、SDカードの端子に触らないようご注意ください。
- 撮影したデータはパソコンやDVDに保存してください。
  本機やSDカードの故障や、静電気などによるデータの損傷や消失に備えて、パソコンやDVD、ビデオ機器などに定期的に保存（バックアップ）することをおすすめします。データが失われた場合、弊社では一切の責任を負いかねます。
- SD-VIDEO規格に準拠したMPEG2方式で動画を記録・再生します。
  DV方式やその他の方式のビデオとは、互換性がありません。
- 指定された動作環境でご使用ください。（P.98）

液晶画面について

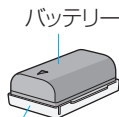
- 表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。
  傷がついたり、割れる場合があります。

■イラスト・画面について

- 本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

バッテリー(充電式電池)について

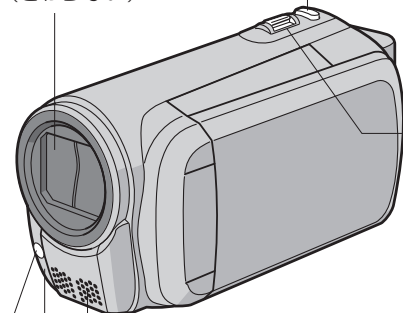
- 正常な動作のために必ずビクター製品をお使いください。
- ご購入時は充電されていません。充電してお使いください。
- 低温(10℃以下)での使用時は、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
  冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。(カイロなどには直接ふれさせない)
- 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
- 長期間使わないときは…
  ①劣化を防ぐため、使い切ってから取りはずします。
  (撮影や再生をしながら、自動的に電源が切れるのを待つ)
  ②半年に1回程度は充電し、使い切って保管します。
- 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付けて、約15～25℃の乾燥したところで保管してください。
- バッテリーを処分する際はP.103をご覧ください。

バッテリー

バッテリーキャップ

■ビデオカメラやSDカードを廃棄/譲渡するときは、データの流出にご注意ください

- ビデオカメラやパソコンによる「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、データの消去は完全ではありません。
- データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、カメラ(内蔵メモリー)やSDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。
  この処理は、お客様の責任において行ってください。万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の機能を使って廃棄するには、P.89をご覧ください。

各部の名前とはたらき

SNAPSHOT
（静止画 撮影）
SNAPSHOTボタン
静止画を撮影する（P.38）
レンズ/レンズカバー
（さわらない）
ステレオマイク
カメラセンサー
リモコン受光部
ライト
－ VOL. ＋
W
T
ズーム/音量レバー
撮影中
広く／大きく撮る（P.32）
〈W 側〉
〈T 側〉
再生モード（一覧表示）
一覧表示する画像の数を変える
動画再生
1/2
DIGEST
2009.11.01 PM04:55
<6 画面>
<20 画面>
選んだ動画の撮影日時
（6 画面のみ表示）
動画再生中
音量を変える（P.36）

（アクセス）
ACCESSランプ

点灯／点滅：記録中や再生中

●点灯中や点滅中は、バッテリー、ACアダプター、SDカードを取りはずさないでください。

（電源／充電）
POWER/CHARGEランプ

点灯：電源「入」
点滅：充電中または高速起動「入」(P.88)
消灯：充電完了または電源「切」

（動画 録画）
START/STOPボタン

動画の撮影を開始／停止する(P.32)

スピーカー

グリップベルト

手のひらを入れ、固定する(P.26)

DC

ロックする

USB端子

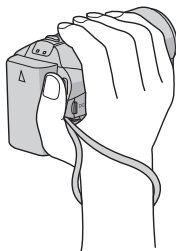
別売のDVDライター(P.60)やパソコンへ

DC端子

電源コンセントへ(P.27)

グリップベルトを使わないときに、下図のように手首を通す。

お知らせ

●グリップベルトは必ずロックしてください(P.26)。
●持ち運びの際は、本機を落とさぬよう十分にご注意ください。
●お子様がご使用のときは、保護者の方が十分にご注意ください。

各部の名前とはたらき

メニューボタン

設定を変える(P.78)

画面

開閉すると、電源を入/切できる(P.30)
自分を撮るときは、回転させる

(レーザー タッチ オペレーション)

スライダー LASER TOUCH OPERATION

メニューや一覧表示で、項目や画像を選択する操作ボタンとしても使う(P.21)

操作ボタン(P.21)

OKボタン

選択した項目や画像を決定する

(再生/撮影)

PLAY/RECボタン

撮影と再生を切り換える(P.30)

〈撮影 P.32〉

〈再生 P.36〉

(動画/静止画)

🎥/📷スイッチ

動画と静止画を切り換える(P.30)

〈動画〉

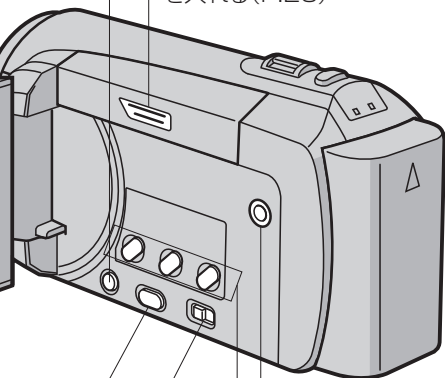
〈静止画〉

お知らせ ●パソコン接続中の操作については、MediaBrowserのヘルプをご覧ください(P.102)。

電源ボタン

画面を開けたまま、電源を入／切できる(P.30)

スロットカバー

なかのスロットに、SDカードを入れる(P.28)

AV端子(P.49、56)

DIRECT DVD INFO

(ダイレクトDVD/情報) DIRECT DVD /INFOボタン

撮影

残量情報を表示する(P.35)
動画の画質を変更する
スロットの切り替えをする

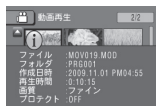
〈残量時間〉

〈充電状況〉

DVDライター(別売)接続中

動画をDVDに保存する(P.61)

再生

撮影日などのファイル情報を見る

パソコン接続中(Windows)

パソコンのDVDに保存する

UPLOAD

(アップロード) UPLOADボタン

撮影

YouTube™用の動画を撮る(P.48)

パソコン接続中(Windows)

YouTube™に動画を送信する

(iTunes転送) EXPORTボタン

撮影

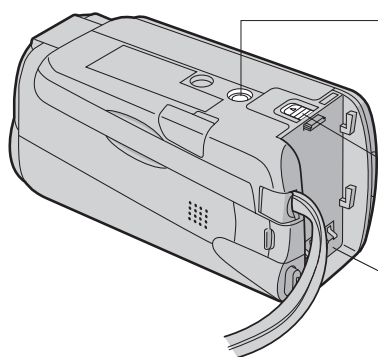
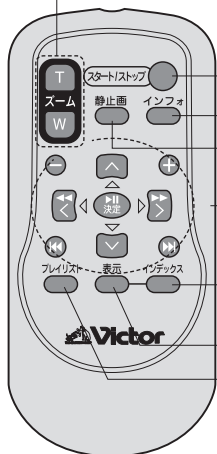
iTunes用の動画を撮る(P.46)

再生

iTunes用の動画にする(P.47)

パソコン接続中(Windows)

動画をiTunesに転送する

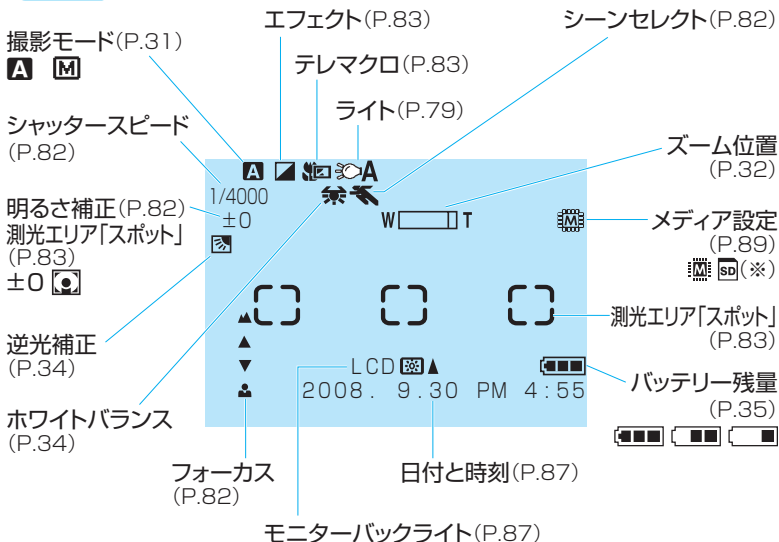
各部の名前とはたらき

リモコン

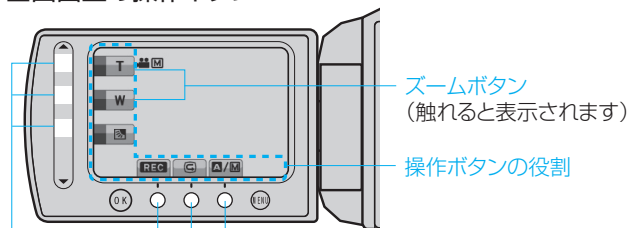
●スロー再生やコマ送りの操作は、本機と同じ（P.36）。

●リモコンは受光部（P.17）に正面から向け、約5m以内でご使用ください。

画面の見かた

共通

撮影時

※ が点滅するとき➡SDカードを入れるか、メディア設定(P.89)を「内蔵メモリー」にする

■画面上の操作ボタン

操作ボタン(操作するには、指で軽く触れます)
＊操作ボタンに軽く触れることを、本書では「タッチする」と表記します。

画面の見かた

動画のとき

静止画のとき

撮影時

再生時

静止画再生(P.30)

フォルダ番号

ファイル番号(P.89)

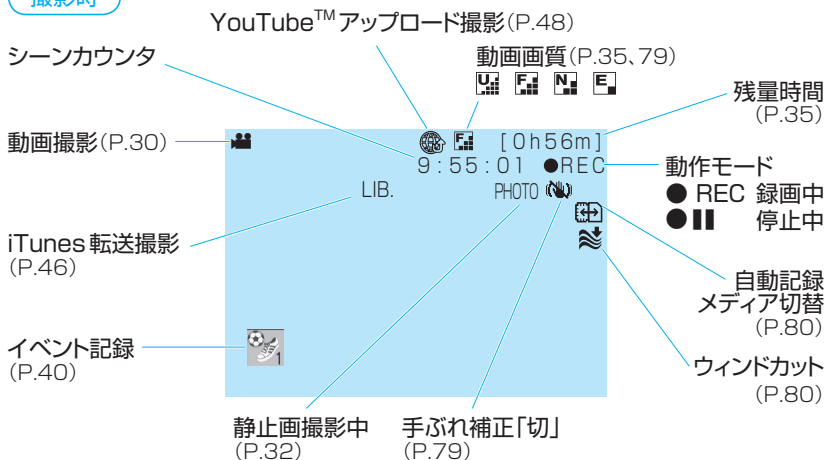
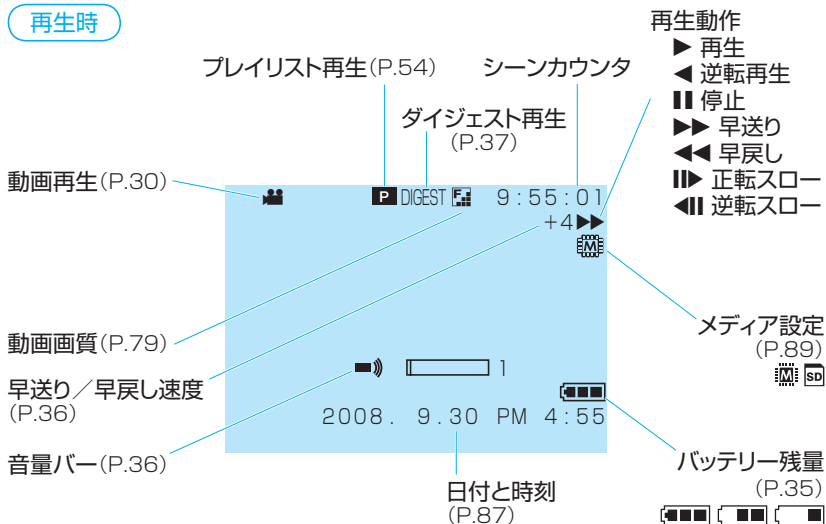
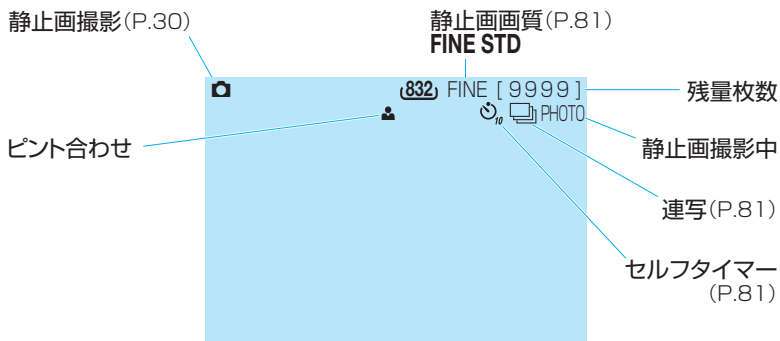
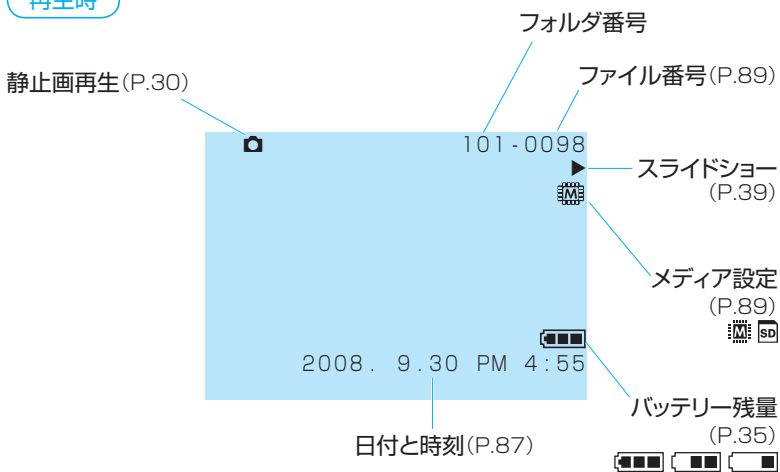
101-0098

スライドショー
(P.39)

メディア設定
(P.89)

2008. 9.30 PM 4:55

バッテリー残量
(P.35)

日付と時刻(P.87)

撮影時間／枚数の目安

撮影可能時間や撮影可能枚数は目安です。撮影環境や、お使いになるSDカード、バッテリーの状況によって異なることがあります。

動画の撮影可能時間の目安

画質	内蔵メモリー	SDカード			
		4GB	8GB	16GB	32GB
ウルトラファイン	3時間45分	1時間	1時間50分	3時間45分	7時間30分
ファイン	5時間40分	1時間20分	2時間50分	5時間40分	11時間20分
ノーマル	7時間30分	1時間50分	3時間45分	7時間30分	15時間
エコノミー	20時間	5時間	9時間55分	20時間	40時間

静止画の撮影可能枚数の目安（単位：枚）

スイッチ	画像サイズ	画質モード	SDカード			
			256MB	512MB	1GB	2GB
静止画	832×624（4：3）	ファイン	970	1950	3950	7590
		スタンダード	1450	2920	5930	9999
動　画	640×480（4：3）	ファイン	1450	2920	5930	9999
		スタンダード	2080	4180	8480	9999
	640×360（16：9）	ファイン	1820	3660	7420	9999
		スタンダード	2420	4880	9890	9999

※内蔵メモリーと4GB以上のSDカードには（画像サイズや画質などに関わらず）9999枚まで撮影できます。

■撮影時間の目安（バッテリー使用時）

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VF808	1時間20分	2時間45分
BN-VF815	2時間45分	5時間25分
BN-VF823	4時間5分	8時間10分
VU-V840KIT	7時間25分	14時間55分
VU-V856KIT	10時間35分	21時間15分

※ライト「切」、モニターバックライト「標準」のときの値です。
※実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなることがあります。（撮影予定時間の約3倍分を用意することをおすすめします）
※十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。（新しいものに交換してください）

海外で使うときは

訪問国や地域に合った変換プラグをご用意ください

コンセントの形状（主な使用国）	（北米・南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

次の訪問国や地域では、現地のテレビでも再生できます

詳しくは「テレビで見る」（P.49）をご覧ください。

- アメリカ合衆国
- 韓国
- コスタリカ
- トリニダード・トバコ
- バハマ
- フィリピン
- ペルー
- ミクロネシア
- エクアドル
- キューバ
- コロンビア
- ドミニカ
- バミューダ
- プエルトリコ
- ホンジュラス
- ミャンマー
- エルサルバドル
- グァテマラ
- スリナム
- ニカラグア
- バルバドス
- 米領サモア
- ボリビア
- チリ
- カナダ
- グアム
- 台湾
- ハイチ
- パナマ
- ベネズエラ
- メキシコ

旅行先を選ぶだけで、日時表示が現地時刻に変わります

日時表示を、旅行先の現地時刻に変更できます。

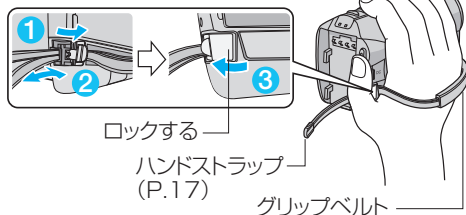
1. MENU メニューを表示する
2. 「表示設定」を選び、OK をタッチする
3. 「時計合わせ」を選び、OK をタッチする
4. 「地域設定」を選び、OK をタッチする
5. ご使用になる地域の都市名を選び、OK をタッチする
6. MENU をタッチする

■旅行先がサマータイムのとき
➡（P.87）

■旅行から戻ったとき
➡左の操作を行い、手順⑤で元の都市名を選ぶ

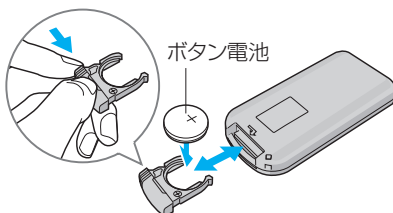
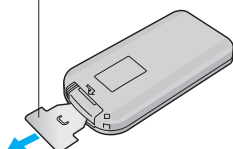
準備 1

使用前に準備する

グリップベルトを調節する

お知らせ

●グリップベルトがゆるんでいると、落下によるけがや故障の原因になります。

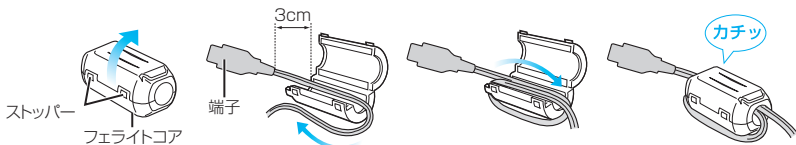
リモコン電池の用意をする

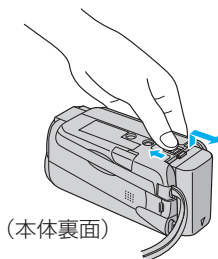
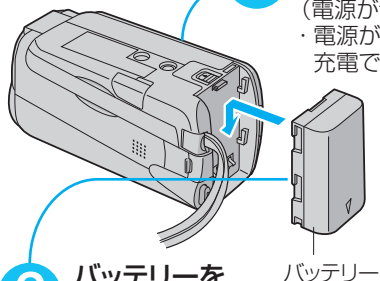
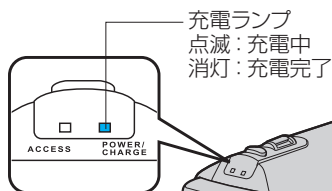
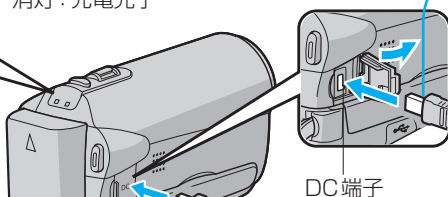
■電池を入れ替えるとき

フェライトコアをACアダプターとUSBケーブルに取り付ける

1 両側のストッパーをはずし、開く

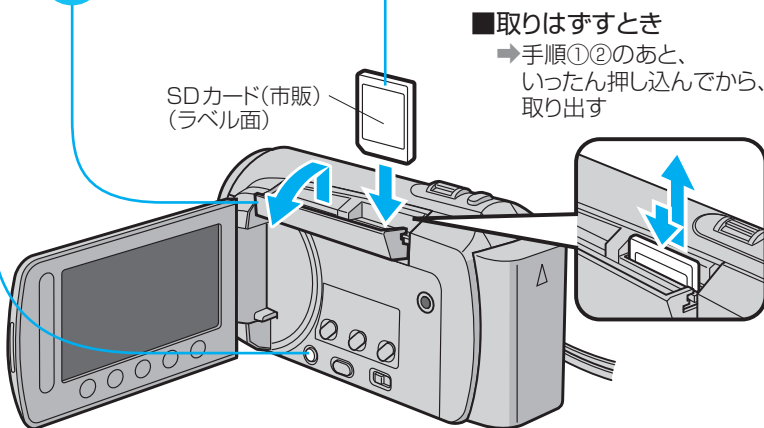
2 本機側の端子から約3cmの位置に取り付ける

3 巻き付ける
(図は1回巻きの場合※)

4 ケーブルをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

※ ACアダプターには2回、USBケーブルには1回巻き付けます。

お知らせ ●本機と外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減できます。

準備 2 バッテリーを取り付け充電する

お知らせ

- 充電時間の目安は、付属のバッテリーで約１時間50分です。（室温 10℃～35℃の範囲以外で充電すると、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。）
- ACアダプターを接続したまま、撮影や再生ができます。（撮影中や再生中は、バッテリーを充電できません。）

準備 3 SDカードを入れる

■動画や静止画をSDカードに記録するとき

➡「動画メディア設定」（P.89）、「静止画メディア設定」（P.89）

お知らせ

- データ消失を防ぐため、SDカードを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。
- 次のSDカードで動作を確認しています。（※）
  動画　：Class 4以上対応のSDHCカード（4GB～32GB）
  静止画：SDカード（256MB～2GB）またはSDHCカード（4GB～32GB）

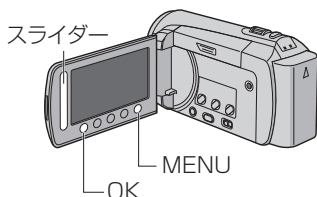
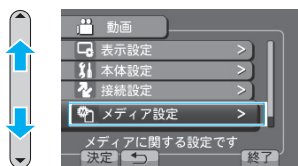
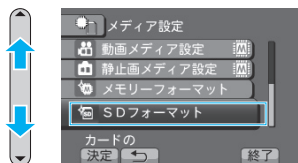
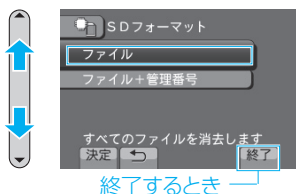
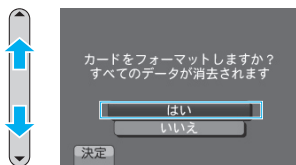
※**パナソニック（Panasonic）・東芝（TOSHIBA）・サンディスク（SanDisk）・ATP**
上記以外のメーカーのSDカード（SDHCカードを含む）では、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。

内蔵メモリーがファイル(動画と静止画)でいっぱいになっても、市販のSDカードを使って撮影を続けられます。(SDカードがなくても撮影できます)

本機ではじめて使うSDカードはフォーマットする

準備 ●データが消去されるため、ほかの機器で使ったSDカードを使うときは、SDカード内のファイルをほかの機器にコピーする

1 画面を閉じて開ける
(電源が入る)

2 MENU メニューを表示する

3 スライダーで「メディア設定」を選び、OKをタッチする

4 「SDフォーマット」を選び、OKをタッチする

5 「ファイル」を選び、OKをタッチする

6 「はい」を選び、OKをタッチする

7 OKをタッチする

準　備 **4**

基本操作を覚えよう

準 備 ●バッテリーを取り付ける(P.27)

■撮影したあとは

➡万一に備えて、画像をパソコンやDVD、ビデオ機器などに定期的に保存してください(P.55)

電源を入／切する

画面の開閉

電源ボタン

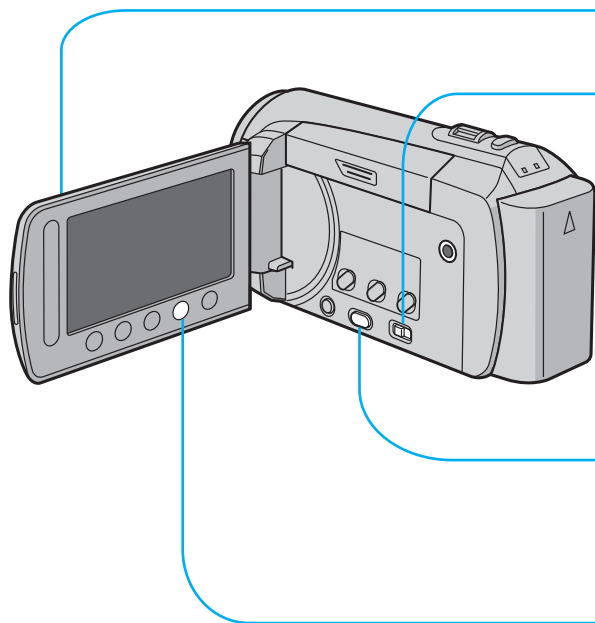
動画／静止画を選ぶ

🎥/📷スイッチ

撮影／再生を選ぶ

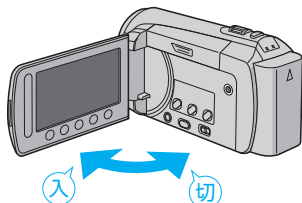
PLAY/REC ボタン

オート／マニュアルを選ぶ

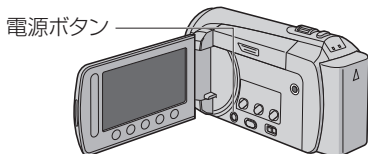
AUTO/MANUAL ボタン

お知らせ

●はじめて撮影するときは、時計を設定します(P.4)。

●画面を閉じると、電源/充電ランプが点滅します。(本体設定メニューの「高速起動」を「入」にしているとき(P.88))

この操作は、撮影や再生・編集など、すべてに共通する操作です。
以降のページでは、準 備の操作として説明を省略しています。

画面を開閉すると、電源を入／切できる

●5分以内に再び開くと、すぐに電源が入ります。（高速起動「入」のとき）

●電源ボタンを長く押すと、画面を開けたまま、電源を入／切できます。

●節電のため、操作せずに5分経つと電源が自動的に切れます。（バッテリー使用時のみ）

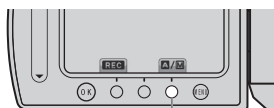
左右にスライドして、切り換える

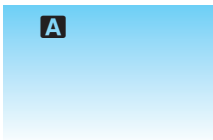
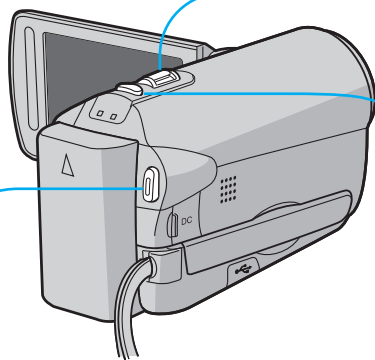
■ 動画

■ 静止画

押す度に、切り換わる

■撮影モードのとき

■再生モードのとき

A/Mをタッチする度に切り替わる（撮影時のみ）

■オート撮影のとき

A

■マニュアル撮影のとき

M

動画を撮る

準備 ●動画/静止画スイッチ：動画
●PLAY/RECボタン：撮影モード

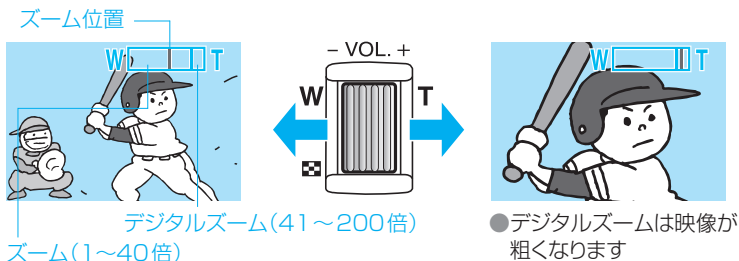
■ライトで照らすとき➡(P.79)

■画面比を4：3にするとき
➡「ワイド撮影切替」(P.80)

16：9　4：3

お知らせ
- 連続して12時間撮影すると、自動的に停止します。メニューの「自動記録メディア切替」(P.80)を「入」にしている場合は、撮影した動画を保存したあと、新しいファイルとして自動的に撮影を再開します。撮影の再開には、多少時間がかかります。
- 長時間の連続撮影では、自動的に最大4GBのファイルで分割されます。

オート撮影(P.30)では、明るさやピントが自動的に調整されます。
マニュアル撮影(P.30)では、メニューを使って調整できます(P.82)。

●デジタルズームは映像が粗くなります

■静止画サイズは
➡「640×360(16:9)」または「640×480(4:3)」(「ワイド撮影切替」の設定によって異なります)

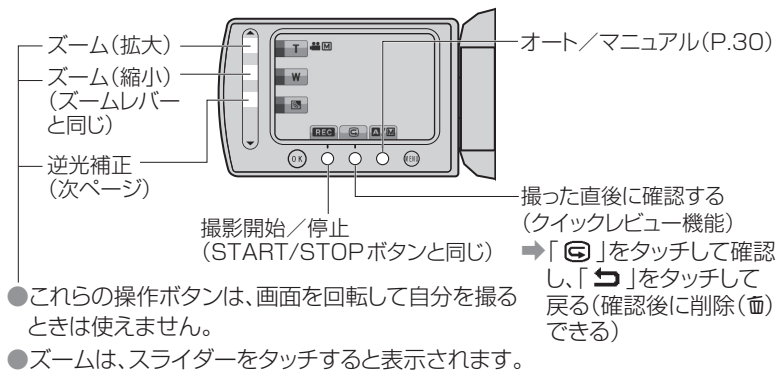
■画質を変更するとき
➡「静止画画質」(P.81)

お知らせ

●セルフタイマーや連写など、静止画専用の機能は利用できません。

■撮影時の操作ボタン

➡「 」をタッチして確認し、「 」をタッチして戻る(確認後に削除( )できる)

●これらの操作ボタンは、画面を回転して自分を撮るときは使えません。
●ズームは、スライダーをタッチすると表示されます。

動画を撮る（つづき）

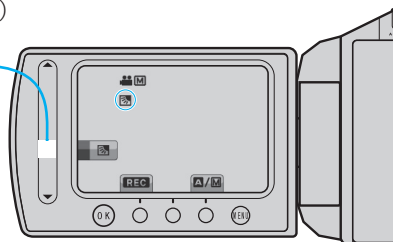
暗い被写体を撮る（逆光補正）

準備　●マニュアル撮影にする（P.30）

●「 」をタッチする度に…

：逆光補正

↓

（なし）：補正なし

自然な色合いに調整する（ホワイトバランス）

準備　●マニュアル撮影にする（P.30）
●メニューを表示し（P.78）、「マニュアル設定」を選び、OK をタッチする

1 マニュアル設定メニューの「ホワイトバランス」で「マニュアル」を選び、OK をタッチする

2 光源に合わせて設定を選び、OK をタッチする

ワンタッチ：（下記）
はれ：晴れた日の屋外で撮る
くもり：曇りの日や日陰で撮る
ハロゲン：撮影用ライトなど照明下で撮る

■色の不自然さが解消されないとき（ワンタッチ）

（1）光源に当たっている白い紙をレンズの前に置き、画面一杯に表示する。

（2）上の手順②で「ワンタッチ」を選び、OK をタッチし続ける。
（「ワンタッチ」が点滅する）

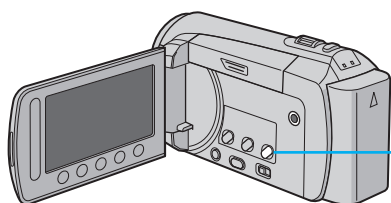
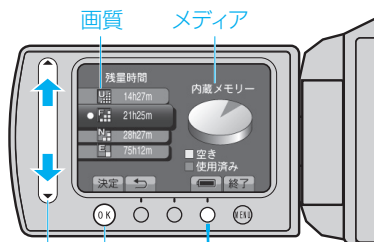
（3）メニューが消えたら、OK から指を放す。

■解除するとき

➡手順①で「オート」を選ぶ

太陽に向かって撮影したとき、被写体が暗くなるのを補正します。（逆光補正）
光の状態による色合いを補正します。（ホワイトバランス）

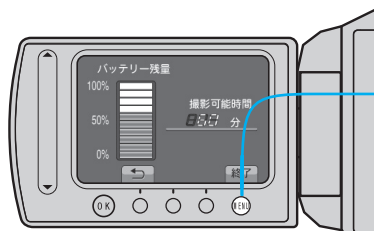
残量時間やバッテリー残量を調べる

準備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画

1 DIRECT DVD / INFO **押す**

（残量時間が表示される）

2 DIRECT DVD / INFO **押す**

（もう一方のメディアの
残量時間が表示される）

3 **「▭」をタッチする**

（バッテリー残量が表示される）

4 **MENU（終了）をタッチする**

●またはINFOボタンを押す。

■もう一方のメディアに動画を保存するとき

➡手順②のあとで、OK（決定）をタッチする
（静止画のとき➡P.89）

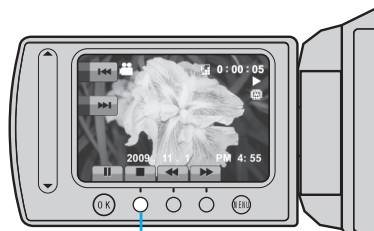
■動画の画質を変更するとき

➡手順①または手順②で、スライダーで画質を選び、OK（決定）をタッチする（残量時間が変化します）

撮影再生 2

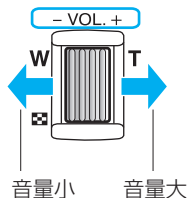
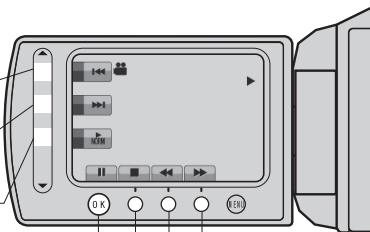
動画を見る

準備
- ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
- ●PLAY/RECボタン：再生モード
- ●テレビで見るとき（P.49）

1 スライダーで動画を選ぶ

2 OK（▶）をタッチする

（再生が開始される）

3 「■」をタッチする

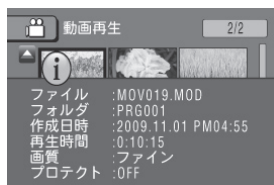
（停止し、一覧表示に戻る）

●早送り／早戻し中は、「◀◀」または「▶▶」を押すごとに、再生速度が変化する。（±4段階）

撮影した動画を、一覧表示から選んで再生できます。

■動画が見つからないとき

➡メディア設定メニューの「動画メディア設定」を変更する(P.89)
(選択したメディア内の動画が、一覧表示されます)

■撮影日や撮影時間などを見るとき

➡一時停止中、または一覧表示画面で
動画を選び、INFOボタンを押す

■再生中の動画の1コマを静止画にするとき

➡一時停止中にSNAPSHOTボタンを押す
(静止画サイズは「640×360(16:9)」
または「640×480(4:3)」になります。
「ワイド撮影切替」(P.80)の設定によって
異なります)

■一覧表示での操作ボタン

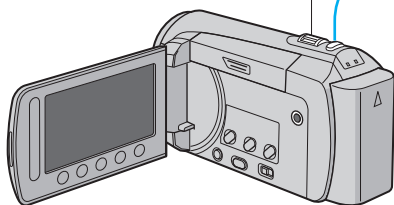
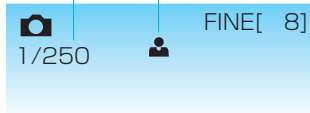
●ダイジェスト再生

➡多くの動画を数秒間ずつ再生し、短時間で確認できる。

撮影 再生 3

静止画を撮る／見る

静止画を撮る

準備 ●🎥/📷スイッチ：📷静止画
●PLAY/RECボタン：撮影モード

SNAPSHOT
2 全押しする
（シャッターを切る）

残り枚数
画質
FINE[8]
PHOTO
記録中

■ズームするとき
➡ズームの操作（P.32）
●最大ズーム倍率：35倍
●デジタルズームは利用できません。

■逆光補正するとき ➡（P.34）

■セルフタイマーを使うとき
➡「セルフタイマー」（P.81）

■連写するとき
➡「シャッターモード」（P.81）

■ライトで照らすとき
➡「ライト」（P.80）

■画質を変更するとき
➡「静止画画質」（P.81）

■撮った直後に確認するとき
➡（P.33）

■SDカードに静止画を保存するとき
➡「静止画メディア設定」（P.89）

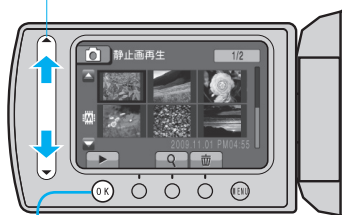
お知らせ ●静止画の撮影時は、手ぶれ補正が働きません。

オート撮影(P.30)では、明るさやピントが自動的に調整されます。
マニュアル撮影(P.30)では、メニューを使って調整できます(P.82)。
撮影した静止画を、一覧表示から選んで再生できます。

静止画を見る

準備 ●🎥/📷スイッチ：📷静止画
●PLAY/RECボタン：再生モード
●テレビで見るとき(P.49)

1 スライダーで静止画を選ぶ

静止画を選ぶ(スライダー)

2 OK (▶)をタッチする

3 「■」をタッチする

(一覧表示に戻る)

■静止画が見つからないとき
➡(P.43)

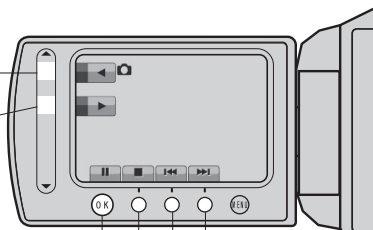
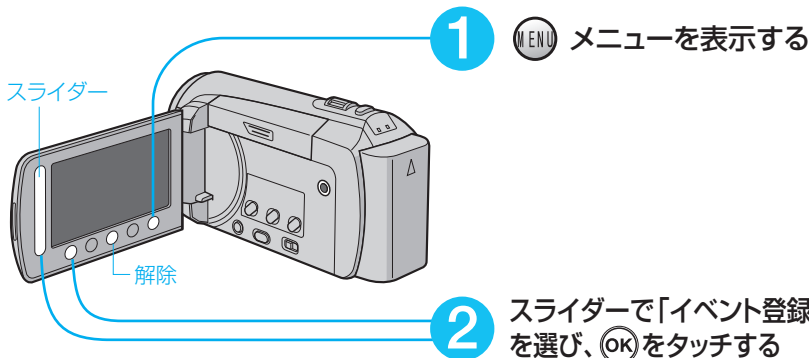
■撮影日や撮影時間などの情報を見るとき
➡INFOボタンを押す(P.19)

■再生中の操作ボタン

●一覧表示のとき➡(P.37)

準備
撮影・再生
編集・保存
DVD作成
メニュー
困ったとき

撮影 再生 4

イベントを登録する

準備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：撮影モード

1 MENU メニューを表示する

2 スライダーで「イベント登録」を選び、OK をタッチする

3 イベントの種類を選び、OK をタッチする

●以後、撮影する動画に選んだイベントが記録され、画面にアイコンが表示されます。(P.22)
(変更するまで同じイベントが記録され続けます)

■終了するとき
➡ MENU (終了)をタッチする

■イベントの登録をやめるとき
➡手順③で「解除」をタッチする
(イベントの登録後に表示されます)

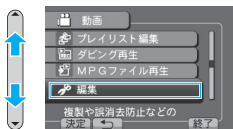
動画を撮影する前に「旅行」「運動会」「ペット」などのイベントを登録しておくと、検索や整理が楽になります。

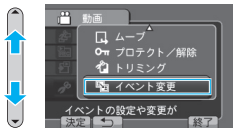
一度記録したイベントを変更するとき

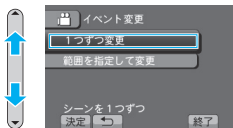
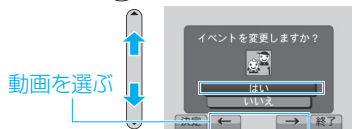
準備 ●📹/📷スイッチ：📹動画
●PLAY/RECボタン：再生モード
●一覧表示で、イベントを変更する動画を選ぶ

1 MENU を押し、「編集」を選び、OK をタッチする

2 「イベント変更」を選び、OK をタッチする

3 「１つずつ変更」を選び、OK をタッチする

4 動画を選んで、「はい」を選び、OK をタッチする

5 変更後のイベントを選び、OK をタッチする

■終了するとき
➡ MENU（終了）をタッチする

■複数の動画をまとめて変更するとき
（1）手順③で「範囲を指定して変更」を選び、OK をタッチする。
（2）動画（ここから）を選び、OK をタッチする。
（3）動画（ここまで）を選び、OK をタッチする。
（4）イベントを選び、OK をタッチする。

撮影 再生 5

探して見る(グループ分け)

準備 ●🎥/📷スイッチ:どちらでも
●PLAY/RECボタン:再生モード

■終了するとき
➡MENU(終了)をタッチする

■中止するとき
➡「↩」をタッチする

■短時間で内容を確認するとき
➡ダイジェスト再生する(P.37)

動画を撮影日時でグループ分けしたり、動画や静止画を撮影日で検索したり、動画をイベントの種類と撮影日ごとにまとめて表示したりできます。

撮影日時が近い動画をひとつのグループに自動的にまとめ、連続して再生できます。

①グループを選び、OK をタッチする

グループ内の動画の数

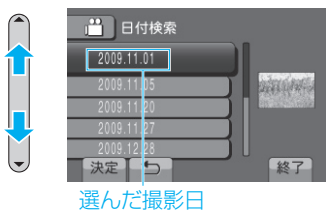
お知らせ
●グループは、撮影日時を元に自動的に作成されます。
●撮影を続けると、グループは変更されることがあります。

同じ日に撮影した動画や静止画だけを、一覧表示します。

①撮影日を選び、OK をタッチする

選んだ撮影日

②動画や静止画を選び、OK をタッチする

●選んだ日に撮影した動画・静止画のみ表示される。

■動画や静止画が見つからないとき

➡「動画メディア設定」や「静止画メディア設定」を変更する（P.89）
（選択したメディア内の動画や静止画が、一覧表示されます）

■撮影日やイベントを選んで削除するとき

（1）削除する撮影日を、日付検索で選ぶ。または削除するイベントと撮影日を、次ページのイベント検索で選ぶ。

（2）上の手順②、または次ページの手順③の一覧表示のまま、MENU をタッチし、「選択して削除」（P.84）を行い、表示中のファイルをすべて削除する。

撮影　再生

5（つづき）

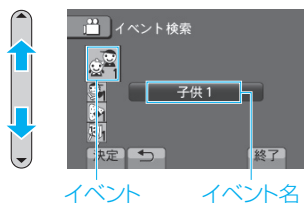
探して見る（つづき）

イベントと撮影日から探す

イベント検索

イベントの種類と撮影日ごとにまとめて動画を表示します。（設定されていないイベントは、表示されません。）

（P.42の手順②で「イベント検索」を選び）

①イベントの種類を選び、OK をタッチする

②撮影日を選び、OK をタッチする

●選んだイベントを含む撮影日のみ表示される。

③動画を選び、OK をタッチする

●選んだ日に撮影した動画のみ表示される。

●選んだイベントのすべての動画を見るとき
➡手順②で「すべて」を選ぶ

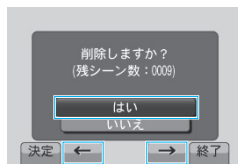
撮影 再生 6 動画や静止画を削除する

準備 ●🎥／📷スイッチ：どちらでも
●PLAY/RECボタン：再生モード

1 スライダーで画像を選ぶ

動画を選ぶ（スライダー）

2 「🗑」をタッチする

3 「はい」を選び、OK（決定）をタッチする

別の画像を選べる

■終了するとき
➡ MENU（終了）をタッチする

■「プロテクトがかかっています」と表示されたとき
➡プロテクトを解除する（P.85、86）

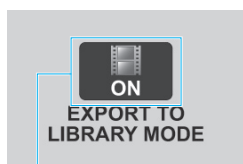
■複数の画像をまとめて削除するとき
➡再生メニューの「削除」（P.84）

撮影 再生 7

iTunes用の動画を撮る

準備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：撮影モード

1 何度か押し、ONと表示する

●押す度に、ONとOFFに切り替わる。

2 START/STOPボタンを押す

（撮影を開始）➡（P.32）

■解除するとき（「LIB.」を消すとき）

➡手順①でOFFと表示する

■iPodに入れるとき

（1）パソコンに付属ソフトMediaBrowserをインストールし（P.72）、本機を接続します。操作については、同ソフトのヘルプをご覧ください（P.102）

（2）iPodへの転送については、iTunesのヘルプをごらんください。

■iTunesに転送できないとき➡（P.94）

アップル社のソフトiTunes用の動画を撮影できます。付属ソフトMediaBrowserを使って動画をiTunesに転送し、iPodで再生できます。
iTunesとiPodについては➡http://www.apple.com/jp/itunes/

撮影後にiTunes用の動画に変更するとき

準備 ●動画/静止画スイッチ：動画
●PLAY/RECボタン：再生モード

1 押す
（次の画面が表示）

2 動画を選び、OK（LIB.）をタッチする

「LIB.」が表示

●別の動画を選ぶとき
➡手順②を繰り返す

3 MENU（完了）をタッチする

4 「はい」を選び、OKをタッチする

■解除するとき（「LIB.」を消すとき）

➡手順②で再び選び、OK（LIB.）をタッチする

■確認するとき

（1）EXPORTボタンを押す。
（2）動画の「LIB.」マークを確認する。
（3）MENU（完了）をタッチする。

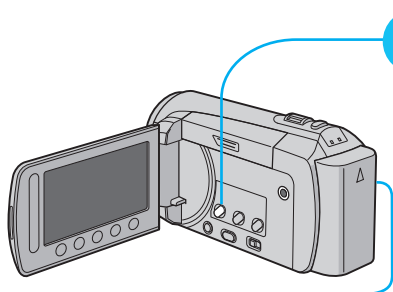
お知らせ

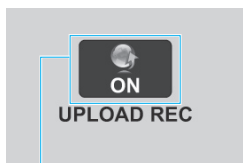
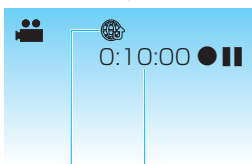
●ほかの画面の一覧表示では「LIB.」マークは表示されません。

撮影 再生 8

YouTube™用の動画を撮る

動画共有サイトのYouTube™にアップロードするときは、🌐を表示してから撮影すると、簡単にアップロードできます。
YouTube™については➡http://www.youtube.com/

準備 ●🎥／📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：撮影モード

1 何度か押し、ONと表示する

●押す度に、ONとOFFに切り替わる。

ONと表示

撮影可能時間（10分）

アップロード撮影

2 START/STOPボタンを押す

（撮影を開始）➡（P.32）

●もう一度押すと停止し、🌐が消える。
●10分間撮り続けると、自動的に停止して🌐が消える。

■解除するとき（🌐を消すとき）
➡手順①でOFFと表示する

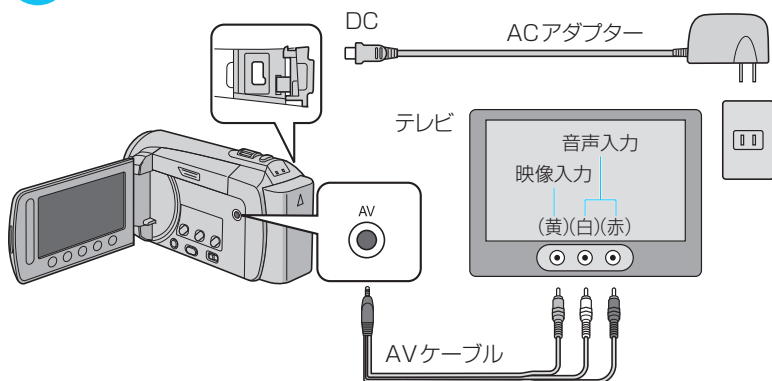
■撮影済みの動画をYouTube™用に変更するとき➡（P.50）

■YouTube™にアップロードするとき
➡パソコンに付属ソフトMediaBrowserをインストールし（P.72）、本機を接続します。操作については、同ソフトのヘルプをご覧ください（P.102）
➡アップロードできないとき（P.94）

撮影 再生 9

テレビで見る

準備 ●🎥／📷スイッチ：どちらでも
●PLAY/RECボタン：再生モード
●お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください

1 テレビに接続する

2 テレビの電源を入れる

3 テレビの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子からの入力に切り換える

4 再生する

●動画➡(P.36)
●静止画➡(P.39)

■日時などを表示したいとき
➡接続設定メニューの「テレビ表示」を「入」(P.89)

■従来型(画面比が4：3)のテレビに縦長に映るとき
➡接続設定メニューの「ビデオ出力」を「4：3」(P.89)

編集 保存 1

部分をコピーする（トリミング）

準備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：再生モード

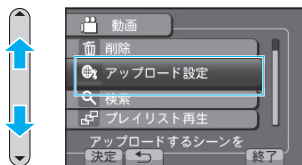
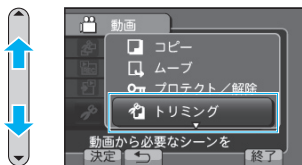
1 メニューを表示する

●YouTube™用の動画をつくるとき
（手順②はない）

2 スライダーで「編集」を選び、OK をタッチする

3 「トリミング」を選び、OK をタッチする

動画
コピー
ムーブ
プロテクト／解除
トリミング
動画から必要なシーンを
決定
終了

3 「アップロード設定」選び、OK をタッチする

4 動画を選び、OK をタッチする

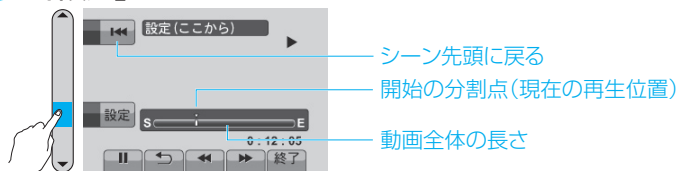
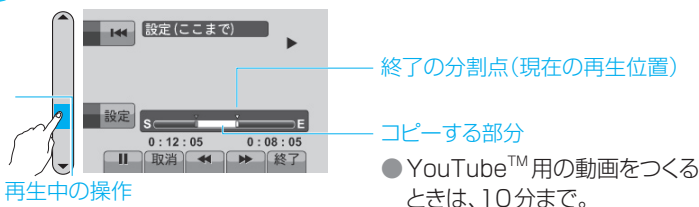
（画面はトリミングの場合）

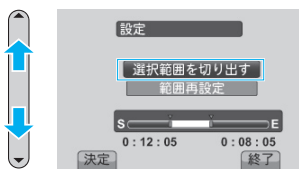
（選んだ動画が再生される）

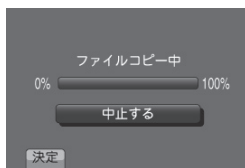
中止するとき

再生中の操作

動画の必要な部分だけをコピーし、新しい動画として保存できます（トリミング）。普通に撮った動画からYouTube™にアップロードする部分だけをコピーし、YouTube™用の新しい動画として保存します（アップロード設定）。

5 コピーを始める位置で一時停止し、「設定」をタッチする

6 再生したあと、コピーを終える位置で一時停止し、「設定」をタッチする

- YouTube™用の動画をつくるときは、10分まで。

7 「選択範囲を切り出す」を選び、OKをタッチする

8 「はい」を選び、OKをタッチする

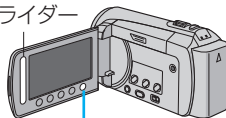
（コピー完了後、コピーした動画が一覧表示に追加されます）

■終了するとき➡ MENU（終了）をタッチする

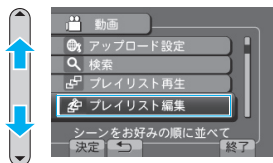
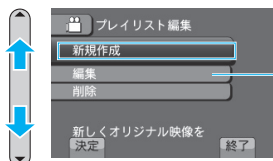
お知らせ
- MPEG-2規格では、約0.5秒単位で動画を分割します。そのため、分割点が選んだ場面から多少ずれることがあります。

編集 保存 2

プレイリストをつくる

準備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：再生モード

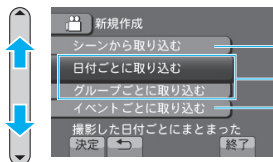
1 MENU メニューを表示する

スライダー

2 スライダーで「プレイリスト編集」を選び、OKをタッチする

3 「新規作成」を選び、OKをタッチする

プレイリストを編集するとき（プレイリストを選び、次ページと同様に操作する）

4 作成方法を選び、OKをタッチする

■終了するとき ➡ MENU（終了）をタッチする

■プレイリストを再生するとき ➡（P.54）

🎥

撮影日で動画を選ぶ

日付ごとに取り込む

グループで動画を選ぶ

グループごとに取り込む

シーンから取り込む

イベントごとに取り込む

動画ファイルを並べた一覧を、プレイリストと呼びます。
動画ファイルをプレイリストに登録しても、元の動画ファイルはそのまま残ります。

撮影日（またはグループ）を選び、その日に撮影した動画（またはグループ内の動画）をまとめて選んで並べます。

①撮影日（またはグループ）を選び、OKをタッチする

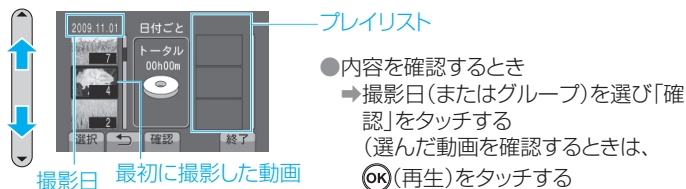
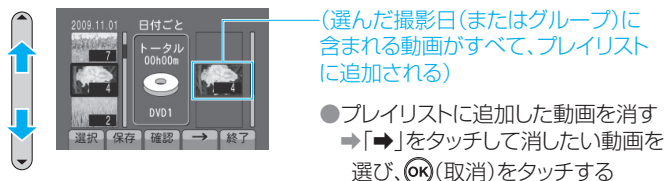
プレイリスト

撮影日　最初に撮影した動画

●内容を確認するとき
➡撮影日（またはグループ）を選び「確認」をタッチする
（選んだ動画を確認するときは、OK（再生）をタッチする

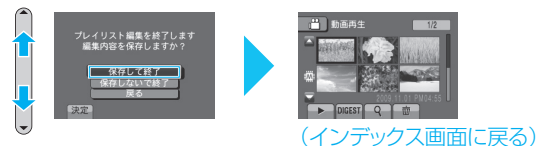
②挿入位置を選び、OKをタッチする

（選んだ撮影日（またはグループ）に含まれる動画がすべて、プレイリストに追加される）

●プレイリストに追加した動画を消す
➡「➡」をタッチして消したい動画を選び、OK（取消）をタッチする

③手順①～②を繰り返し、撮影日（またはグループ）を並べる

④「保存」またはMENU（終了）をタッチする

⑤「保存して終了」を選び、決定する

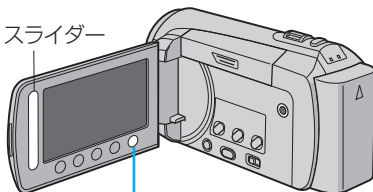
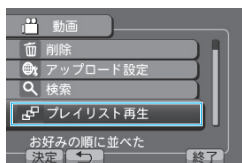
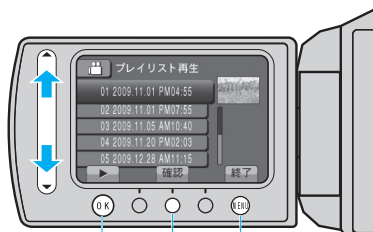
（インデックス画面に戻る）

■動画を１つずつ選ぶとき
➡上の手順①で動画を選ぶ。以後の操作は同じ。

■イベントと撮影日で動画を選ぶとき
➡イベントを選び、OKをタッチする。以後の操作は、上の「日付ごとに取り込む」と同じ。

編集 保存 3

プレイリストを見る

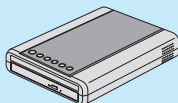
準備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：再生モード

1 MENU メニューを表示する

2 スライダーで「プレイリスト再生」を選び、OK をタッチする

3 プレイリストを選び、OK をタッチする

■終了するとき

➡ MENU（終了）をタッチする

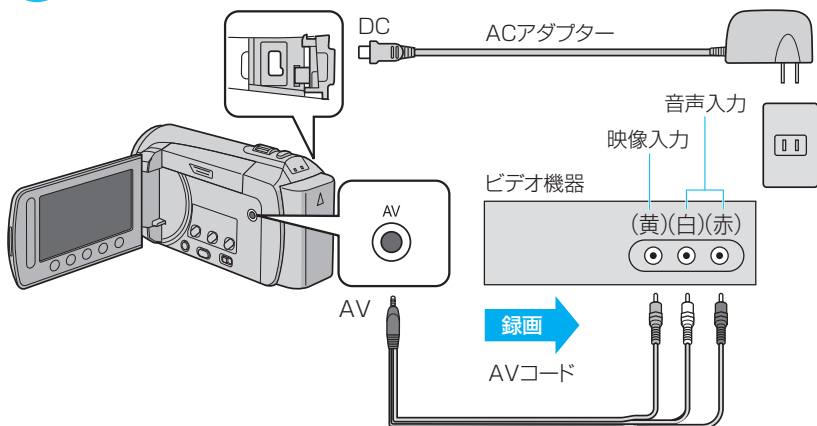
画像をバックアップする

撮影した画像（動画と静止画）は、本機の内蔵メモリーや市販のSDカードに記録されます。
本機やSDカードの故障や、静電気などによるデータの損傷や消失に備えて、撮影した画像は、パソコンやDVD、ビデオ機器などに保存（バックアップ）しましょう。

これを使って…	こんなことができます
動画：ビデオ機器で	DVDやテープに保存する（次ページ）
動画・静止画：DVDライターで	DVDに保存する（P.60） ■再生するとき ➡（P.69）
動画・静止画：パソコンで ●対応するパソコン ➡（P.71） ●付属ソフトのインストール ➡（P.72）	パソコンに保存する（P.73） ●付属ソフトEverio MediaBrowserを使います。 ↓ DVDに保存する（P.76） ●記録型DVDドライブが必要です。

ビデオ 保存 1

ビデオ機器にダビングする

準備 ①プレイリストを作成する(P.52)
②🎥/📷スイッチ：🎥動画
●お使いのビデオ機器とテレビの説明書もご覧ください

1 接続する

2 PLAY/RECボタンで再生モードにする

3 ビデオ機器で録画を開始し、本機で再生する

■終了するとき➡ビデオ機器と本機を停止する

■ビデオ機器に接続するテレビの画面比(4：3または16：9)に合わせる
➡接続設定メニューの「ビデオ出力」(P.89)

■日付を付けてダビングするとき
(1) 接続設定メニューの「テレビ表示」を「入」にする(P.89)。
(2) メニューの「画面表示」で「日付のみ表示」を選ぶ(P.85)。

HDDレコーダーやビデオ機器などに接続して、動画をダビングできます。
プレイリストでお好みの動画を集め、ダビングすることもできます。

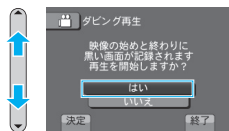
プレイリストをダビングする

再生側（本機）

2 MENU メニューを表示する

3 「ダビング再生」を選び、OK をタッチする

4 プレイリストを選び、OK をタッチする

5 「はい」を選び、OK をタッチする

始めと終わりに黒画面が入ります

録画側（ビデオ機器）

1 録画の準備をする

・ビデオカメラを接続した端子に、外部入力を切り替える。

・DVD-Rなどやビデオテープを入れる。

お知らせ

●ダビングの前に手順⑤までを行い、ビデオ機器に本機の映像を入力できることを確認してください。

6 黒画面が表示されているうちに
録画を開始する

（ダビング中）

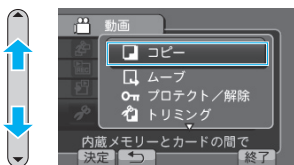
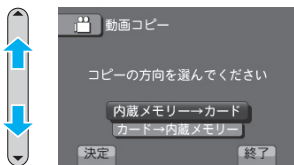
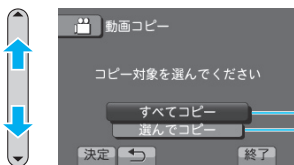
7 黒画面が表示されているうちに
録画を停止する

・映像の最初と最後に約５秒間の黒画面が入る。

コピー ムーブ 1 内蔵メモリー↔SDカードに移す

準 備
●🎥/📷スイッチ：動画または静止画
●PLAY/RECボタン：再生モード

1 メニューを表示し、「編集」を選び、OKをタッチする

2 「コピー」または「ムーブ」（移動）を選び、OKをタッチする

3 コピーまたはムーブの方向を選び、OKをタッチする

4 ファイルを選ぶ方法を選び、OKをタッチする

すべてのファイルを

すべてコピー
すべてムーブ

選んだファイルを

選んでコピー
選んでムーブ

■終了するとき ➡ MENU（終了）をタッチする

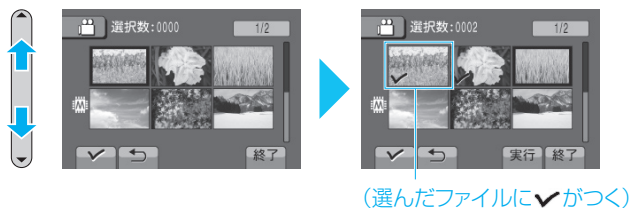
動画や静止画を内蔵メモリーとSDカードのあいだでコピーしたり、
ムーブ(複製せずに移動)させたりできます。
静止画をお店でプリント(現像)するときなどに便利です。

すべてのファイルをコピーまたはムーブ(移動)します。

①「はい」を選び、OK をタッチする

選んだファイルだけをコピーまたはムーブ(移動)します。

①コピーまたはムーブ(移動)したいファイルを選び、OK (✔)を
タッチする

(選んだファイルに✔がつく)

②手順①を繰り返し、ファイルを選ぶ

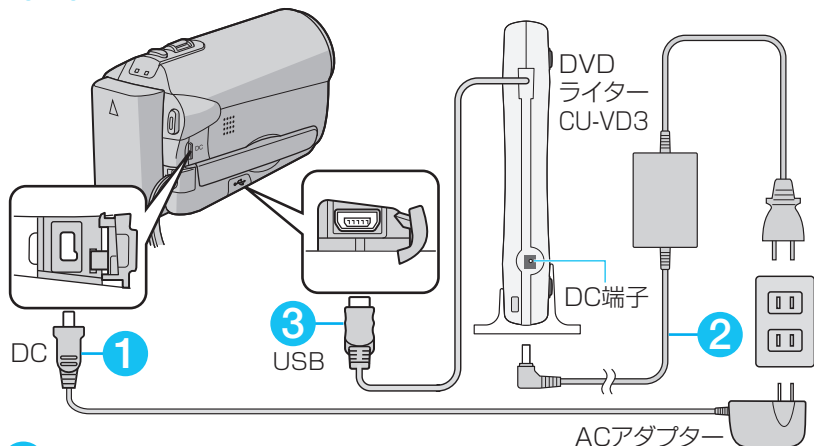
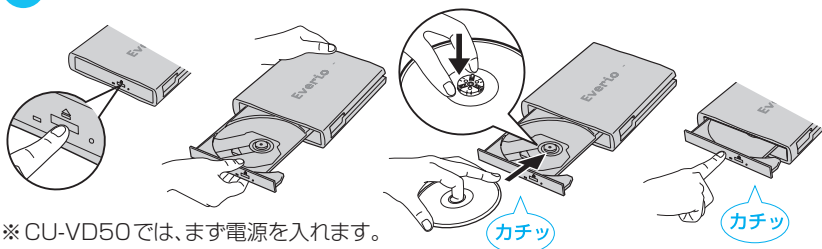
③「実行」をタッチする

④「はい」を選び、OK をタッチする

DVD ライター **1**

DVDライターを準備する

準 備 ①保存する動画のあるメディア(内蔵メモリーまたはSDカード)を選ぶ
②本機の画面:閉じる
●DVDライター(CU-VD3またはCU-VD50:別売)の説明書もご覧ください

＊❶～❸の順に接続します。

❹ 新しいDVDをセットする

※CU-VD50では、まず電源を入れます。

❺ 画面を開ける

(DVD作成の画面が表示される)

お知らせ ●DVDに記録できる時間は、撮影のしかたによって変化します。
●DVDライター(CU-VD50)のボタンのうち、電源ボタンと取り出しボタン以外は、本機との接続中は機能しません。

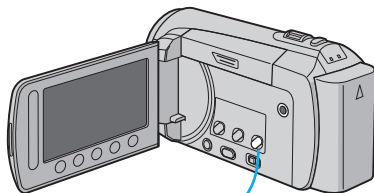
DVD ライター 2

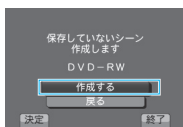
DVDを簡単につくる

一度もDVDに保存していない動画を、まとめてDVDに保存できます。

準備 ●DVDライターを準備する(前ページ)

コピー元(本機)

1 DIRECT DVD **押す**
(DVD作成画面が表示される)

2 「作成する」を選び、OK をタッチする

●中止するとき
➡「中止する」を選び、OK をタッチする

3 OK をタッチする

コピー先(DVDライター)

(DVDにコピー開始)

●「次のディスクを入れてください」と表示されたとき
➡新しいDVDに入れ替える

4 DVDを取り出す

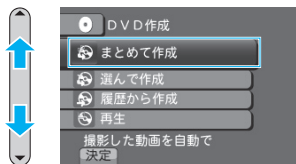
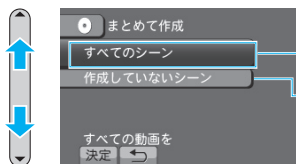
■以前にDVDライターで保存したことがある動画を、改めて保存するとき
➡「まとめてDVDに保存する」(P.62)

準備 撮影・再生 編集・保存 DVD作成 メニュー 困ったとき

DVD ライター 3

まとめてDVDに保存する

準 備 ●DVDライターを準備する（P.60）

1 「まとめて作成」を選び、OKをタッチする

2 動画の選びかたを決め、OKをタッチする

●すべての動画をDVDに保存する。

●一度もDVDに保存していない動画を、まとめて保存する（「DVDを簡単につくる」（P.61）と同じ）。

3 「すべて」を選び、OKをタッチする

必要なDVDの枚数

保存する動画を確認（ で戻る）

動画の撮影日をDVDごとに確認
（選んだままOKをタッチすると、
そのDVDだけをつくることができる）

DVDライター(別売)と接続すると、一度もDVDに保存していない動画や本機のすべての動画を、DVDにまとめて保存できます。

4 どちらかを選び、OKをタッチする

● DVDのトップメニューに…
➡はい　：自動的にグループ分けされた動画が並ぶ(グループ➡P.42)
➡いいえ：動画が並ぶ

5 「作成する」を選び、OKをタッチする

重要

手順⑥の画面が表示されるまで、電源を切ったり、USBケーブルを取りはずしたりしないでください。
また、DVDライターや本機を動かさないでください。

6 OKをタッチする

●「次のディスクを入れてください」と表示されたとき
➡新しいDVDに入れ替える

■つくったDVDを確認するとき
➡手順①で「再生」を選ぶ

DVD ライター 4

選んでDVDに保存する

準 備 ●DVDライターを準備する(P.60)

1 「選んで作成」を選び、OK をタッチする

DVD作成
まとめて作成
選んで作成
履歴から作成
再生
お好みの動画を選んで
決定

2 動画の選びかたを決め、OK をタッチする

選んで作成
日付ごとに作成
イベントごとに作成
プレイリストから作成 ▶(P.66)
シーンから選ぶ ▶(P.67)
撮影した日付ごとにまとまった
決定

3 どちらかを選び、OK をタッチする

ディスクのトップメニューに
表示する見出しを
おまかせでまとめますか?
はい
いいえ
決定 終了

●DVDのトップメニューに…
➡はい:自動的にグループ分けされた動画が並ぶ(グループ➡P.42)
➡いいえ:動画が並ぶ

4 「作成する」を選び、OK をタッチする

●手順⑤の画面が表示されるまで、電源を切ったり、USBケーブルを取りはずしたりしないでください。

中止するとき

選んだ撮影日の動画だけを

日付ごとに作成

選んだイベントの動画だけを

イベントごとに作成

DVDライター(別売)と接続すると、「旅行」などのイベントや撮影日などで動画をまとめて選んで、DVDに保存できます。

選んだ日付に撮影したすべての動画をDVDに保存する。

①撮影日を選び、OK をタッチする　②「すべて」を選び、OK をタッチする

イベントを選び、そのイベントを登録しているすべての動画を、DVDに保存する。

①イベントを選び、OK をタッチする　②「すべて」を選び、OK をタッチする

5 OK をタッチする

- 「次のディスクを入れてください」と表示されたとき
  ➡新しいDVDに入れ替える

■つくったDVDを確認するとき
➡前ページの手順①で「再生」を選ぶ

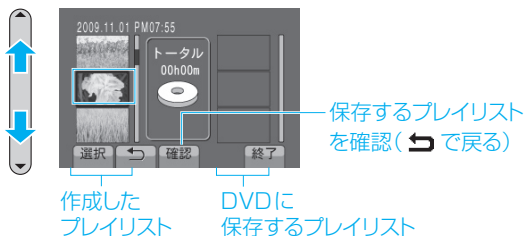
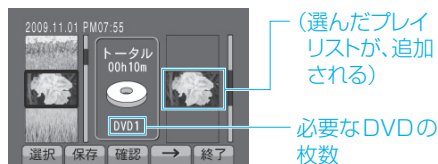
選んでDVDに保存する（つづき）

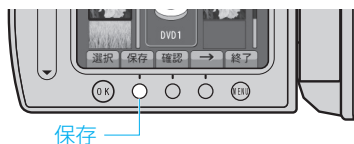
選んだプレイリストを

プレイリストから作成

作成したプレイリスト（P.52）を選び、プレイリスト通りの動画をDVDに保存する。

（P.64の手順②で「プレイリストから選ぶ」を選び）

①プレイリストを選び、OK（選択）をタッチする

②挿入位置を選び、OK をタッチする
（右欄にプレイリストがあると、挿入位置を選べる）

③手順①〜②を繰り返し、プレイリストを並べる

④「保存」をタッチする

（ボタンの表示は、選んでいる場所によって変化する）

⑤「作成する」を選び、OK をタッチする（P.64 手順④へ）

DVDライター(別売)と接続すると、プレイリスト(P.52)やお好みで選んだ動画を、DVDに保存できます。

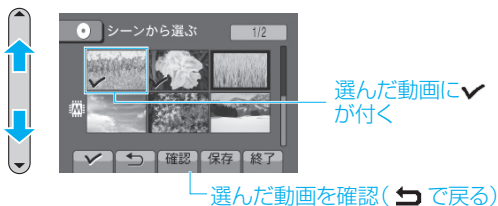
選んだ動画だけを

シーンから選ぶ

1つ、または複数の動画を選んで、DVDに保存する。
(P.64の手順②で「シーンから選ぶ」を選び)

①動画を選び、OK(✓)をタッチする

選んだ動画に✓が付く

選んだ動画を確認(⮌で戻る)

②手順①を繰り返し、動画を選ぶ

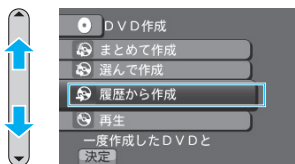
③「保存」をタッチする

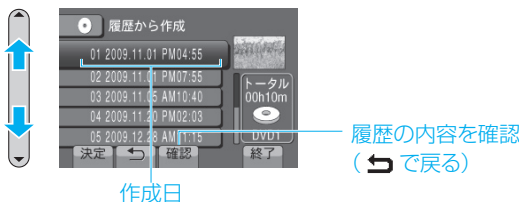
④「すべて」を選び、OKをタッチする
(P.64の手順③へ)

DVD ライター 5

同じDVDを何枚もつくる

準 備 ●DVDライターを準備する（P.60）

1 「履歴から作成」を選び、OKをタッチする

2 再び作成するDVDの、前回の作成日を選び、OKをタッチする

3 「作成する」を選び、OKをタッチする

●「次のディスクを入れてください」と表示されたとき
➡未使用のDVDを入れる

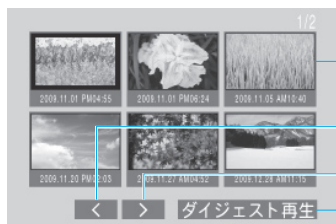
4 「作成しました」と表示されたら、OKをタッチする

■つくったDVDを確認するとき ➡手順①で「再生」を選ぶ

お知らせ ●作成履歴は、最新のものから順に20件まで保存されます。

作成したDVDについて

トップメニューの構成

DVDライターでつくったDVDを市販のDVDプレーヤーなどで再生すると、DVDプレーヤーに次のトップメニューが表示されます。

タイトルのサムネイル（プレイリスト、グループ、動画のいずれか）

前の画面に戻る

次の画面に進む

ダイジェスト再生を開始

■プレイリストから作成したとき

➡トップメニューにプレイリストが並びます。
プレイリストに含まれる動画は、各タイトルのチャプターになります。

■トップメニューに表示する見出しをまとめたとき

➡「DVDを簡単につくる」（P.61）でつくったDVDや、動画をおまかせでまとめてつくったときは、トップメニューにグループ（P.42）が並びます。
グループに含まれる動画は、各タイトルのチャプターになります。

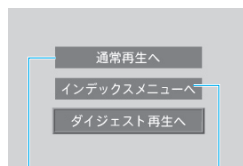
■その他のとき

➡トップメニューに動画が並びます。

ダイジェスト再生

DVD内の動画を、数秒ずつ連続して再生します。内容の確認や、見たいシーンを探すときにお使いください。

■ダイジェスト再生を終了するとき

➡DVDプレーヤーのトップメニューボタン（またはメニューボタン）を押す。

再生中のシーンから通常再生を始める

トップメニューに戻る

お知らせ ●チャプターはメニューに表示されません。

パソコンでDVDをつくる前に

パソコンを使うと、本機で撮った動画でDVDをつくることができます。
パソコンでDVDをつくるには、下記の順に操作します。

1 パソコンの性能を確かめる（次ページ）

▼

2 付属ソフトをインストールする（P.72）

▼

3 パソコンにバックアップする（P.73～P.74）

▼

4 ファイルを整理する（P.75）

▼

5 動画をDVDに記録する（P.76）

お知らせ

- お使いのパソコンに記録型DVDドライブが必要です。
- 付属ソフトでは、静止画をDVDに記録できません。
- 付属ソフトの操作などで困ったときは、P.102のお問い合わせ先へご相談ください。
- Macintoshをお使いの場合は、アップル社のiMovie '08（動画）またはiPhoto（静止画）を使って、パソコンにファイルを取り込みます。以後の操作については、それぞれのソフトのヘルプをお読みください。

パソコン 1 パソコンの性能を確かめる

❶ スタートメニューの「コンピュータ」（または「マイコンピュータ」）を右クリックし、「プロパティ」を選ぶ

❷ 次の項目を確認する

（Windows Vistaの場合）

- Windows Vista™：次のいずれか
  - ・Home Basic
  - ・Home Premium

  （共にプリインストール版のみ）
- 空欄、またはService Pack 1とあること
- プロセッサ：次のいずれか
  - ・Intel® Core™ Duo CPU 1.5GHz以上
  - ・Intel® Pentium®4 CPU 1.6GHz以上
  - ・Intel® Pentium®M CPU 1.4GHz以上
- メモリ：1GB（1024MB）以上
- システムの種類：32ビット

（Windows XPの場合）

- Windows XP：次のいずれか
  - ・Home Edition
  - ・Professional

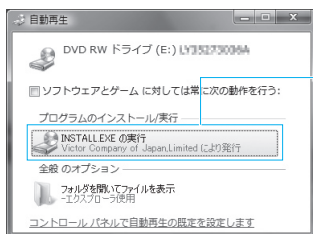
  （共にプリインストール版のみ）
- Service Pack 2（または3）とあること
- プロセッサ：Windows Vistaと同じ
- メモリ：512MB 以上

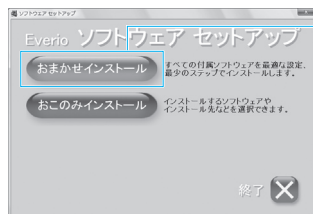
お知らせ

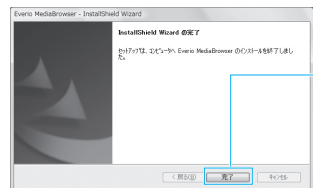
- 上記の条件を満たしていないパソコンでは、付属ソフトを使用できません。DVDライター（別売）のご利用をお勧めします（P.60）。
- 詳しくは、パソコンの製造元にお問い合わせください。

パソコン 2 付属ソフトをインストールする

準 備 ●付属のCD-ROMをパソコンに入れる

■Windows XPをお使いのとき➡手順③から

1 自動再生画面で
「INSTALL.EXEの実行」をクリック

2 ユーザーアカウント制御画面で
「続行」をクリック

3 **「おまかせインストール」をクリック**

●以後、画面の指示に従う。

4 左の画面で
「完了」をクリック

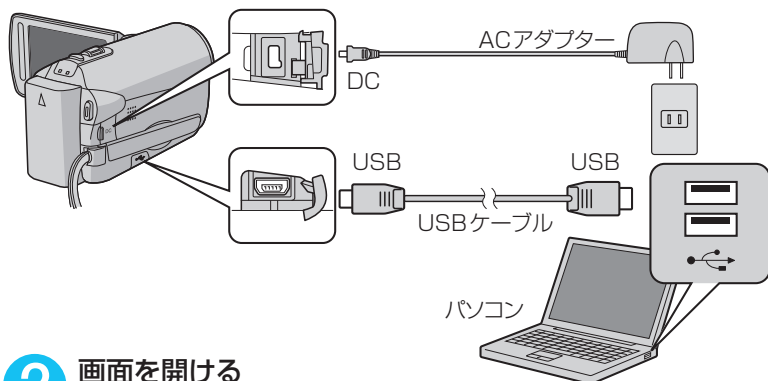
5 手順③の画面に戻り
「終了」をクリック
（インストールが終了する）

（デスクトップにアイコンが表示される）

パソコン3 パソコンにバックアップする

本機の操作

準備 ●パソコンのHDDに十分な空き容量があることを確認する

1 本機の画面を閉じてから、接続する

2 画面を開ける
（電源が入る）

3 「バックアップする」を選び、OKをタッチする
（パソコンで付属ソフトのEverio MediaBrowserが立ち上がる）

（次ページに続く）

（パソコン接続中）

お知らせ

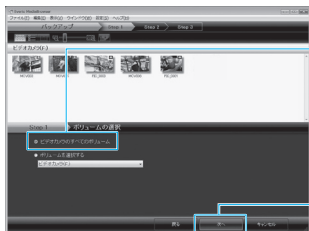
●撮影した動画が多いと、バックアップに時間がかかります。

パソコン
3（つづき）

パソコンにバックアップする（つづき）

パソコンの操作

準 備　●本機で「バックアップする」を選ぶ（前ページ）

1

「ビデオカメラのすべてのボリューム」をクリック

「次へ」をクリック

ここに保存されます

「開始」をクリック
（バックアップが始まる）

3

Everio MediaBrowser
完了しました。
OK

「OK」をクリック

■本機をパソコンから取りはずすとき

(1)「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックする。

(2)「USB大容量記憶装置～」をクリックする。

(3)（Windows Vistaの場合）「OK」をクリックする。

(4) USBケーブルをパソコンから取りはずし、本機の画面を閉じる。

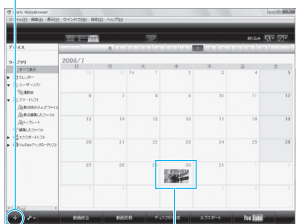
お知らせ

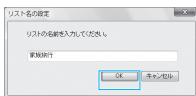
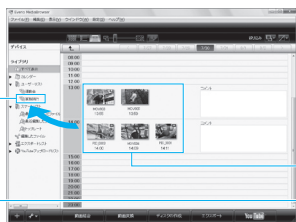
●動画ファイルの拡張子は「.MOD」。静止画ファイルの拡張子は「.JPG」。

パソコン4 ファイルを整理する

ファイルをバックアップしたら、「家族旅行」「運動会」などの名前を付けて整理しましょう。DVDをつくるときだけでなく、鑑賞するときにも役立ちます。

をクリック
（カレンダー表示になる）

撮影した月をクリック

左下の
「＋」ボタンをクリック

ユーザーリスト名を入力し、「OK」をクリック
（ライブラリのユーザーリストに、新しいユーザーリストが追加される）

（例：家族旅行）

撮影日をクリック
（その日に撮影したファイルのサムネイルが表示される）

サムネイルをドラッグし
ユーザーリストにドロップする

■動画と静止画を区別するとき

➡画面右上の「絞り込み」メニューを使う

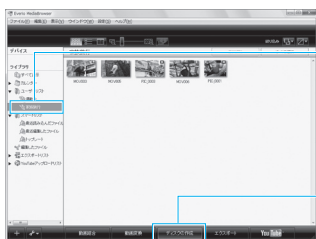
➡サムネイルの右上隅を確認する

動画
静止画

（静止画はDVDに保存できません）

パソコン 5 動画をDVDに記録する

準 備 ●新しいDVD（DVD-Rなど）を、パソコンの記録型DVDドライブに入れる。

1

ユーザーリストをクリック

●前ページの例では「家族旅行」。

「ディスクの作成」をクリック

2

●動画だけが表示される。

「表示されているすべてのファイルを選択する」をクリック

「次へ」をクリック

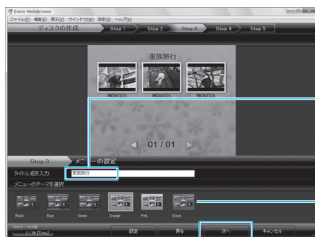
■DVDにするファイルを選ぶとき

➡手順②で下の欄の「ファイルを個別に選択する」をクリックし、「次へ」をクリックしたあと、次の操作をする

DVDにする動画をドラッグし

下の欄へドロップする

「次へ」をクリック

ユーザーリストのなかの動画を使って、DVDをつくります。
Everio MediaBrowserの使いかたを詳しく知るには、「ヘルプ」メニューの「MediaBrowserヘルプ」をご覧ください。（P.102）

お知らせ ●「MediaBrowserヘルプ」（P.102）を見るには、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerは、Adobe社のホームページからダウンロードできます。
http://www.adobe.com/jp/

メニュー 1 さまざまな機能を使う

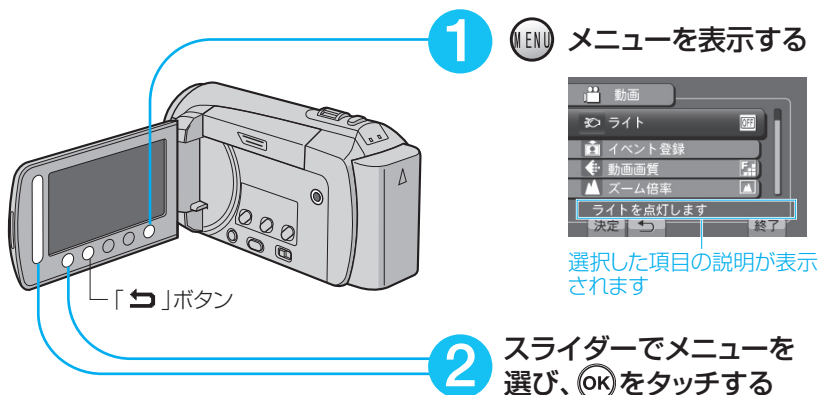
明るさやホワイトバランスなどを、被写体や目的に合わせて調節したり、画質や手ぶれ補正、感度アップなどの設定を変えたりできます。

準備 ●動画/静止画スイッチ：（メニューによる）
●PLAY/RECボタン：（メニューによる）

1 MENU メニューを表示する

選択した項目の説明が表示されます

2 スライダーでメニューを選び、OK をタッチする

3 スライダーで内容を選び、OK をタッチする

■設定を終了するとき
➡ MENU をタッチする

■一つ前の画面に戻るとき
➡「⮌」をタッチする

■すべての設定をお買い上げ時に戻すとき
➡本体設定メニューの「工場出荷」（P.88）

メニュー 2

撮影時のメニュー

/スイッチの設定によって、表示されるメニューが異なります。
一部のメニューは、マニュアル撮影時(P.30)のみ、表示されます。

動画の撮影メニュー

メニュー	内容
マニュアル設定(マニュアル撮影時のみ)	項目を選び、それぞれの内容を設定する ➡「マニュアル設定のメニュー」(P.82)
ライト	ON 入:ライトを常に点灯する A オート:周囲が暗いと自動的に点灯する ● OFF 切:消灯する
イベント登録	これから撮影する動画が、登録したイベント(旅行、運動会など)に分類される(P.40)
動画画質	ウルトラファイン:最高画質 ● ファイン:高画質 ノーマル:標準画質 エコノミー:長時間、撮影できる(画面比が4:3になり、静止画を同時に撮影できない) •残量時間の画面でも設定できます(P.35)。
ズーム倍率	35倍:35倍までズームできる(光学ズームのみ) 40倍:40倍までズームできる(ダイナミックズームまで) ● 80倍:80倍までズームできる 200倍:200倍までズームできる •「40倍」「80倍」「200倍」に設定すると、36倍~40倍の範囲でダイナミックズームします。デジタル処理を行いますが、デジタルズーム(41倍~200倍)と異なり画質が劣化しません。
手ぶれ補正	OFF 切:設定しない ● ON 入:手ぶれによる動画のブレを低減する •三脚などで固定して撮影するときは ➡「切」にする。(「入」では逆に不自然な映像になる) •手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。 •動画撮影のみに効果があります。

メニュー 2(つづき)

撮影時のメニュー(つづき)

動画の撮影メニュー(つづき)

メニュー	内容
感度アップ(静止画と別に設定)	切:調節しない AGC:暗いところで電気的に明るく調節する ● オート:暗いところで自動的に明るく調節する(オートスロー:AGCより明るくなるが、明るさによっては被写体の動きが不自然になることがある)
ワイド撮影切替	● 16:9:16:9のワイド画面比で撮影するとき 4:3:4:3の画面比で撮影するとき •「画質」が「エコノミー」のときは、画面比が「4:3」になります。
ウィンドカット	● 切:低減しない 入:風の音を低減する
自動記録メディア切替	切:記録メディアの空き容量がなくなると、動画の撮影を停止する ● 入:記録メディアを切り替えて動画の撮影を続ける •記録メディアを切り替えるには、SDカードが必要です(P.28)。 •記録メディアの切り替えと撮影の再開に、約3秒間かかります。切り替え中の映像は撮影されません。(記録メディアに画像が多く記録されている場合など、条件によっては、撮影の再開までに数十秒から数分かかることがあります)
表示設定	•項目を選び、それぞれの内容を設定する(それぞれ静止画と共通) ➡「表示設定のメニュー」(P.87)
本体設定	➡「本体設定のメニュー」(P.88)
接続設定	➡「接続設定のメニュー」(P.89)
メディア設定	➡「メディア設定のメニュー」(P.89)

●印は、お買い上げ時の設定です

/スイッチの設定によって、表示されるメニューが異なります。
一部のメニューは、マニュアル撮影時(P.30)のみ、表示されます。

静止画の撮影メニュー

メニュー	内容
マニュアル設定(マニュアル撮影時のみ)	•項目を選び、それぞれの内容を設定する ➡「マニュアル設定のメニュー」(P.82)
ライト	•ライトを点灯する ➡動画の撮影メニューの「ライト」(P.79)
セルフタイマー	● 切:セルフタイマーを使わない 2秒:SNAPSHOTボタンを押して、2秒後に撮影する(三脚や台などの上に置き、セルフタイマーを使うと、SNAPSHOTボタンを押した瞬間の手ぶれを防ぐことができる) 10秒:SNAPSHOTボタンを押して、10秒後に撮影する
シャッターモード	● 1枚撮影:連写しない 連写:SNAPSHOTボタンを押し続けているあいだ、連写する(最大3枚/秒) •SDカードによっては、連写できないことがあります。 •連写し続けると、連写速度が低下します。 •連写では、セルフタイマーを使えません。
静止画画質	● ファイン:高画質(撮影可能枚数が少なくなる) スタンダード:標準画質(撮影可能枚数が多くなる)
感度アップ(動画と別に設定)	切:調節しない ● AGC:暗いところで電気的に明るく調節する
表示設定	•項目を選び、それぞれの内容を設定する(それぞれ動画と共通) ➡「表示設定のメニュー」(P.87)
本体設定	➡「本体設定のメニュー」(P.88)
接続設定	➡「接続設定のメニュー」(P.89)
メディア設定	➡「メディア設定のメニュー」(P.89)

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー 3 マニュアル設定のメニュー

項目	内容
シーンセレクト	● 切：調節しない ナイトアイ：周囲が薄暗いと自動的に、感度を上げて明るく撮る(最大30倍) ・画面がカクカクする、またはコマ落ちしたような画像になることがある。 ・ピントが合いにくくなるとき ➡「フォーカス」を「マニュアル」にする ・手ブレしやすくなるとき ➡三脚で固定する 夜景：夜景などを自然な感じに撮る ポートレート：背景をぼかして、人物を浮かび上がらせる スポーツ：動きの速いものを1コマ1コマ鮮明に撮る スノー：晴れた日の雪原などで、被写体が暗く映ることを防ぐ スポットライト：ライトの中の人物が明るくなりすぎない
フォーカス	● オート：自動的にピントが合う マニュアル：ピントをスライダーで合わせ、OKをタッチする(マニュアルフォーカス) ：遠距離 ：近距離 •ズームを使うときは、望遠(T)でピントを合わせてから広角(W)にすると、ピントがずれない。
明るさ補正 (動画と静止画で別に設定)	● オート：自動的に明るさが調節される マニュアル：明るさの補正値をスライダーで設定し、OKをタッチする 動画　()：−6〜+6 静止画()：−2.0EV〜+2.0EV
シャッタースピード (動画と静止画で別に設定)	● オート：自動的にシャッタースピードが調節される マニュアル：シャッタースピードをスライダーで選び、OKをタッチする •動きの速い被写体を鮮明に撮るとき ➡数値を小さくする(：1/4000まで、：1/500まで) ＊被写体が暗くなる。 •動きのある被写体の流れを撮るとき ➡数値を大きくする(1/2まで) ＊手ブレしやすくなるので、三脚で固定する。
ホワイトバランス	● オート：自動的に自然な色合いになるよう調節される マニュアル：色合いを調節する➡(P.34)

マニュアル撮影時(P.30)には、メニューに「マニュアル設定」が表示されます。「マニュアル設定」を選んで OK をタッチすると、明るさやシャッタースピードなどを調節できます。

項目	内容
測光エリア	● 全体：画面全体を基準に、明るさを補正する スポット：スポット枠を基準に、全体の明るさを補正する ➡「←」や「→」をタッチしてスポット枠を左右に動かし、OK をタッチする
エフェクト （動画と静止画で別に設定）	● OFF 切：効果をつけない セピア：古い写真のようなセピア色で撮る B/W 白黒：白黒映像のようなモノクロで撮る 映画効果（動画のみ）：速いコマ落としによる映画のような効果で撮る ストロボ（動画のみ）：コマ落としで、連続写真のように撮る
テレマクロ	● OFF 切：通常の撮影（以下の距離まで近づける） 望遠（T）側：約1mまで 広角（W）側：約5cmまで ON 入：望遠側での接写（以下の距離まで近づける） 望遠（T）側：約50cmまで 広角（W）側：約5cmまで •接写しないときは、「切」にしてください。「入」のままだと、画像がぼやけることがあります。

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー 4

再生時のメニュー

動画の再生メニュー

メニュー	内容
削除	**1つずつ削除**：いま選ばれている動画を削除する **選択して削除**：削除する動画を選んで マークを付け、まとめて削除する ①動画を選び、OK（ ）をタッチする（ が表示される） ・ を消すとき ➡もう一度タッチする ②「実行」をタッチする ③「はい」を選び、OKをタッチする **すべて削除**：すべての動画を削除する
アップロード設定	動画からYouTube™にアップロードする部分をコピーし、新しい動画として保存する ➡「部分をコピーする」（P.50）
検索	グループ、撮影日、イベントのいずれかで、一覧表示する動画を絞り込む ➡「探して見る」（P.42）
プレイリスト再生	プレイリストを再生する ➡「プレイリストを見る」（P.54） •終了するとき ➡MENU（終了）をタッチする
プレイリスト編集	プレイリストを作成または編集する ➡「プレイリストをつくる」（P.52）
ダビング再生	プレイリストを選び、ビデオ機器にダビングする ➡「ビデオ機器にダビングする」（P.56） •中止するとき ➡OK（中止）をタッチする
MPGファイル再生	管理情報の壊れた動画ファイルなどを再生する •通常の再生に戻るとき ➡「 ⮌ 」をタッチする

／スイッチの設定によって、表示されるメニューが異なります。
動画のグループ表示での再生時や、プレイリストの再生時は、一部の機能を利用できません。

<table>
<tr><th colspan="2">メニュー</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">編集</td><td>コピー</td><td>動画を選び、別のメディアにコピーする➡(P.58)</td></tr>
<tr><td>ムーブ</td><td>別のメディアにコピーし、元の動画を削除する➡(P.58)</td></tr>
<tr><td>プロテクト/解除</td><td>1つずつ設定：いま選ばれている動画に、誤消去防止のプロテクト( )マークを付ける
選択して設定：プロテクトする動画を選んで マークを付けたり、解除したりする
①動画を選び、OKをタッチする(が表示される)
・ を消すとき➡もう一度タッチする
②MENUをタッチする
③「はい」を選び、OKをタッチする
すべてプロテクト：すべての動画をプロテクトする
すべて解除：すべての動画のプロテクトを解除する</td></tr>
<tr><td>トリミング</td><td>動画から必要な部分をコピーし、新しい動画として保存する➡(P.50)</td></tr>
<tr><td>イベント変更</td><td>一度記録したイベントを変更する➡(P.41)</td></tr>
<tr><td colspan="2">画面表示</td><td>OFF 切：画面の文字とアイコンをすべて消す
● すべて表示：文字とアイコンをすべて表示する
日付のみ表示：文字とアイコンを消し、日時のみを表示する
日付5秒表示：画像を表示したときと、日付が変わったときに、日時を約5秒間表示する(ほかの文字とアイコンは表示しない)</td></tr>
<tr><td colspan="3">表示設定(P.87)　本体設定(P.88)　接続設定(P.89)　メディア設定(P.89)</td></tr>
</table>

メニュー 4（つづき）

再生時のメニュー（つづき）

／スイッチの設定によって、表示されるメニューが異なります。

静止画の再生メニュー

メニュー		内容
削除		静止画を削除する ➡動画のメニューの「削除」（P.84）
日付検索		撮影日を指定し、一覧表示する静止画を絞り込む ➡「探して見る」（P.42）
編集	コピー	静止画を選び、別のメディアにコピーする➡（P.58）
	ムーブ	別のメディアにコピーし、元の静止画を削除する ➡（P.58）
	プロテクト／解除	静止画をプロテクト（誤消去防止）する ➡動画のメニューの「プロテクト／解除」（前ページ）
画面表示		画面の文字とアイコンを消す ➡動画の再生メニューの「画面表示」（前ページ）
表示設定（P.87） 本体設定（P.88） 接続設定（P.89） メディア設定（P.89）		

メニュー 5 表示設定のメニュー

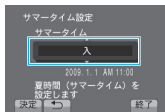
「表示設定」を選んで OK をタッチすると、画面の明るさなどを調節できます。
撮影／再生、動画（🎥）／静止画（📷）を問わず、いつでも設定できます。

項目	内容
時計合わせ	**日時設定**：現在時刻を修正するときや、設定し直すとき **地域設定**：海外で使うとき（P.25） **サマータイム設定**：旅行先でサマータイムが実施中のとき、「入」にする
日付表示配列	年月日の並び順と、時間表示（24h／12h）を設定する
モニター明るさ調整	明るさをスライダーで調整し、OK をタッチする ＋：明るくなる －：暗くなる
モニターバックライト	**明るい**：画面を常に明るくしたいとき **標準**：バッテリーの消費を抑えたいとき ● **A オート**：屋外では「明るい」に、屋内では「標準」に、自動的に切り替わる ➡屋外に出ると、「LCD ▲」が約３秒間表示され、▲が点滅します ➡屋内に入ると、「LCD ▼」が約３秒間表示され、▼が点滅します

●印は、お買い上げ時の設定です

■旅行先がサマータイムのとき

(1)「時計合わせ」で「サマータイム設定」を選ぶ。

(2)「入」を選び、OK をタッチする。

■海外から戻ったとき

➡「地域設定」と「サマータイム設定」を元に戻す

■時計が少しずれたとき

➡「時計合わせ」で「日時設定」を選ぶ（P.4の手順③へ）

■サマータイムとは

夏の一定期間の時計を１時間進める制度を、サマータイムと呼びます。
日照時間を有効に使うため、主に欧米諸国で採用されています。

メニュー 6 本体設定のメニュー

「本体設定」を選んで OK をタッチすると、本機について設定できます。
撮影/再生、動画( )/静止画( )を問わず、いつでも設定できます。

項目	内容
デモモード	OFF 切:設定しない ● ON 入:本機の機能のデモを見ることができる ➡ SDカードを入れず、ACアダプターを接続し、電源を入れて「撮影」にし、約3分待つ
オートパワーオフ	OFF 切:5分放置しても電源が切れない ● ON 入:電源の切り忘れ防止のため、5分放置でバッテリー使用時は電源を切り、ACアダプター使用時は待機状態になる(デモモード「切」の場合)
操作音	OFF 切:消す ● ON 入:操作時に音を鳴らす
録画ボタン	OFF 切:表示しない ● ON 入:画面に「録画」ボタンを表示し、START/STOPボタンの代わりに使う
高速起動	OFF 切:高速起動しない ● ON 入:5分以内に再び画面を開くと、すぐに起動する •「入」にすると、画面を閉じてから5分間、消費電力が撮影時の約半分になります。電源を入れておくより節電できます。
リモコン	OFF 切:リモコンでの操作を受け付けない ● ON 入:リモコンで操作できる
ファームウェア更新	本機の機能を最新版に更新できます。詳しくは、ビクターのホームページをご覧ください。(新しいファームウェアがつくられるまで、ホームページに説明はありません)
工場出荷	「時計合わせ」以外のすべての設定をお買い上げ時に戻す

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー 7 接続設定とメディア設定のメニュー

撮影／再生、動画（🎥）／静止画（📷）を問わず、いつでも設定できます。
「接続設定」を選んで OK をタッチすると、テレビとの接続について設定できます。

接続設定の項目	内容
テレビ表示	● OFF 切：テレビに、アイコンや日時を表示しない ON 入：常に表示する
ビデオ出力	● 16:9 16:9：ワイドテレビ（16:9）に接続するとき 4:3 4:3：従来型のテレビ（4:3）に接続するとき

●印は、お買い上げ時の設定です

「メディア設定」を選んで OK をタッチすると、内蔵メモリーとSDカードについて設定できます。

メディア設定の項目	内容
動画メディア設定	● 内蔵メモリー：動画を本機の内蔵メモリーに記録する SD SDカード：動画をSDカードに記録する
静止画メディア設定	● 内蔵メモリー：静止画を本機の内蔵メモリーに記録する SD SDカード：静止画をSDカードに記録する
メモリーフォーマット	●ファイル：内蔵メモリーのすべてのファイルを消去する ファイル+管理番号：内蔵メモリーのすべてのファイルを消去し、ファイル番号を「1」から始める（静止画フォルダのフォルダ番号は「100」から始まる）
SDフォーマット	SDカードのすべてのファイルを消去する ➡内蔵メモリーと同じ • SDカードが入っていないときは、選べません。
メモリーデータ消去	本機を廃棄または譲渡するときに実行する（ダミーデータの上書きですべてのデータを消去し、さらにフォーマットする） • 繰り返すことで、データの復元をさらに困難にできます。 • 終了するまで時間がかかります。ACアダプターを接続してください。

●印は、お買い上げ時の設定です

故障かな!?と思ったら…

修理を依頼する前に、もう一度、以下の表にしたがってご確認ください。
それでも不具合があるときは、お買い上げ店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
なお、ビデオカメラサポート情報から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。
➡ http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/support/

	こんなときは	ここを確かめてください
カード	SDカードが入らない	●SDカードの向きを確認する。
電源	電源が入らない	●ACアダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。
	画面を閉じると電源/充電ランプが点滅する	●本体設定メニューの「高速起動」が「入」になっていることを示しています。 ●バッテリーの充電中を示しています。
撮影中	撮影できない	●🎥/📷スイッチを確認する。 ●PLAY/RECボタンで撮影モードにする。
	自動でピントが合わない	●レンズの表面をクリーニングクロスできれいに拭く。 ●マニュアル撮影メニューでマニュアルフォーカスを解除する。 ●暗いところや明暗差の少ないものを撮影しているときは、マニュアルフォーカスを使う。
	デジタルズームできない	●メニューの「ズーム倍率」を「80倍」または「200倍」にする。 ●静止画の撮影では、デジタルズームは使えません。

撮影中 こんなときは	ここを確かめてください
勝手に撮影が停止した	●電源を切り、しばらく経ってから電源を入れる。(本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。) ●12時間連続撮影すると撮影が停止します。撮影の再開には、多少時間がかかります。
被写体が暗い	●逆光補正を使う。 ●メニューの「ライト」「感度アップ」を使う。 ●マニュアル設定メニューの「シーンセレクト」で「ナイトアイ」を使う。 ●マニュアル設定メニューの「明るさ補正」を「+」側に設定する。
被写体が明るい	●逆光補正を使っているときは解除する。 ●マニュアル設定メニューの「シーンセレクト」で「スポットライト」を使う。 ●マニュアル設定メニューの「明るさ補正」を「−」側に設定する。
被写体の色が不自然(赤っぽい、青っぽいなど)	●マニュアル設定メニューの「ホワイトバランス」を「マニュアル」に設定する。 ・光源に合わせて「はれ/くもり/ハロゲン」のいずれかを選ぶ。 ・「ワンタッチ」を選んで調整する。
画面に明るい光の帯が現われる	●本機の向きを変え、光源を画面に入れないようにする。 (明るい光源が画面周辺にあると光の帯が現われることがありますが、故障ではありません。)

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください
撮影中	静止画の連写速度が遅い	●連写を続けると、連写速度が低下します。 ●使用するSDカードや撮影条件によって、連写速度が低下します。
画面	バッテリー残量が正しく表示されない	●バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。 ●ACアダプターを接続すると、バッテリー残量は表示されません。 ●高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していると、正しく表示できないことがある。
	画面が見えにくい	●直射日光下など周囲が明るいと見にくくなります。
再生中	音や映像が途切れる	●シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。
	撮影したはずの動画や静止画が一覧表示されない	●グループ表示や日付検索を解除する。 ●メディア設定メニューの「動画メディア設定」や「静止画メディア設定」を変更する。（別のメディアのファイルは表示されません。） ●メニューの「MPGファイル再生」を選ぶ。（管理情報の壊れた動画などを再生できます。）
	日付表示がでない	●メニューの「画面表示」を設定する。 ●（テレビで再生するとき）接続設定メニューの「テレビ出力」を「入」にする。

	こんなときは	ここを確かめてください
その他	動画モードと静止画モードの切り替えや電源の入/切などが遅い	●動画や静止画をパソコンなどに保存し、本機から削除することをおすすめします。 （撮影したファイルが本機に多数あると、本機の反応が遅くなります。）
	充電中、ランプが点滅しない	●バッテリー残量を確認する。 （バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。） ●低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。 （範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。）
	スライダーや操作ボタンがきかない	●手袋などをはずす。 ●指で触れて操作する。（爪やペン先などでは操作できません。）
	リモコンがきかない	●本体設定メニューの「リモコン」を「入」にする。 ●電池を交換する。 ●野外や強い光が当たるところでは動作しないことがあります。
	通信時エラー表示がでる	●USBケーブルを接続しなおす。 ●本機を接続している機器の電源と、本機の電源を、入れ直す。
	DVD作成メニューに入ったときメニューから抜けられない	●本機とDVDライターの電源を切るか、ACアダプターを取りはずす。

故障かな!? (つづき)

こんなときは		ここを確かめてください
その他	本機が熱くなる	●故障ではありません。 (長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。)
	YouTube™に アップロード できない	●YouTube™のアカウントを作成する。 (YouTube™へのアップロードには、YouTube™のアカウントが必要です。) ●付属ソフトMediaBrowserのヘルプの「最新の製品情報はこちら」の「Q&A」「最新情報」「ダウンロード情報」などを確認する。
	iTunesに 転送できない	●付属ソフトMediaBrowserのヘルプの「最新の製品情報はこちら」の「Q&A」「最新情報」「ダウンロード情報」などを確認する。

■次の場合は故障ではありません

●太陽光が映ると、液晶画面が一瞬赤か黒になる。
●液晶画面に黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
(液晶画面には99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の小さな点がでることがあります)

■正常に動作しないときは本機をリセットする

(1)電源を切る。(画面を閉じる)
(2)本機からバッテリーとACアダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから電源を入れる。
(3)本体設定メニューの「工場出荷」を実行する。

こんな表示がでたら…

こんな表示	ここを確かめてください
時計を合わせてください	●時計を設定する。（設定しても表示が消えないときは、時計用電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。）
通信エラー	●バッテリーをもう一度付け直す。
フォーマットエラー	●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。 ●本機の電源を入れ直す。
データ消去エラー	●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。 ●本機の電源を入れ直す。
内蔵メモリーエラー	●本機の電源を入れ直す。 ●上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、メディア設定メニューの「メモリーフォーマット」を実行する。（データはすべて消えます。）
カードエラー	●本機の電源を入れ直す。 ●ACアダプターとバッテリーを取りはずし、SDカードを入れ直す。 ●SDカードの端子の汚れを取り除く。 ●上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、メディア設定メニューの「SDフォーマット」を実行する。（データはすべて消えます。）
フォーマットされていません	●「OK」を選び、「フォーマットしますか?」の画面で「はい」を選ぶ。

こんな表示が…（つづき）

こんな表示	ここを確かめてください
記録できませんでした	●本機の電源を入れ直す。
現在記録できません	●動画の撮影をいったん停止してから、静止画を撮影する。（動画の撮影中にSDカードを抜き差しすると、静止画を撮影できません。） ●メニューの「動画画質」を「エコノミー」以外にする。（「エコノミー」では静止画の同時撮影ができません。）
動画管理ファイルが壊れているため修復します	●「OK」を選んで修復する。（修復に失敗した動画は一覧表示されませんが、メニューの「MPG ファイル再生」で再生できることがあります。）
未対応のシーン（ファイル）です	●本機で記録したファイルを使う。（他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。）
プロテクトがかかっています	●メニューの「編集」の「プロテクト／解除」で解除する。
カードがライトプロテクトされています	●SDカードのライトプロテクトスイッチを解除する。
電源が入っていないか、または非対応のUSB機器です	●接続したUSB機器の電源を入れる。 ●DVDライターにACアダプターを接続する。
空き容量がありません	●ファイルを削除する。パソコンなどに移す。 ●新しいSDカードに交換する。

こんな表示	ここを確かめてください
フォルダ数が制限を超えています	●バックアップ先を別のディスクに交換する。 ①パソコンなどにファイルまたはフォルダを移す。（バックアップします。） ②メディア設定メニューの「メモリーフォーマット」または「SDフォーマット」で、「ファイル+管理番号」を選ぶ。 （内蔵メモリーまたはSDカード内のデータは、すべて消えます。）
ファイル数の制限を超えています	①パソコンなどにファイルまたはフォルダを移す。（バックアップします。） ②メディア設定メニューの「メモリーフォーマット」または「SDフォーマット」で、「ファイル+管理番号」を選ぶ。 （内蔵メモリーまたはSDカード内のデータは、すべて消えます。）
プレイリスト数が制限を超えています	●プレイリストを99以下にする。 （プレイリストは99まで作成できます。）
[動画] ファイルがありません	●[動画]/[静止画]スイッチを切り替える。 ●メディア設定メニューの「動画メディア設定」または「静止画メディア設定」を変更し、もう一方のメディアに記録されていないか確かめる。
[静止画] ファイルがありません	●[動画]/[静止画]スイッチを切り替える。 ●メディア設定メニューの「動画メディア設定」または「静止画メディア設定」を変更し、もう一方のメディアに記録されていないか確かめる。
ディスクを入れてください	●DVDライターのトレーを開け、DVDを確認して置き直し、トレーを閉める。 ●DVDライターのディスクを入れ替える。
ディスクを入れ替えてください	●DVDライターのトレーを開け、DVDを確認して置き直し、トレーを閉める。 ●DVDライターのディスクを入れ替える。

仕様

一般	
電源	ACアダプター使用時 ：DC11V バッテリー使用時 ：DC7.2V
消費電力	1.8W（ライト「切」、モニターバックライト「標準」の場合）
外形寸法(mm)	54.5×65×112.5（幅×高さ×奥行き：グリップベルトを含まず）
質量	本体 ：約245g 撮影時：約290g（バッテリーBN-VF808を含む）
動作環境	許容動作温度：0℃～40℃、許容保存温度：－20℃～50℃ 許容相対湿度：35％～80％

カメラ部・液晶部			
映像素子	1/6型 80万画素	撮像エリア	動画 41万画素（光学ズーム） 55万画素（ダイナミックズーム）
			静止画 55万画素
レンズ	F1.8～F4.0、f=2.2mm～77mm （35mmカメラ換算 41mm～1435mm）		
フィルター径	30.5mm（ネジピッチ0.5mm）		
最低照度	3ルクス（シャッタースピード：オート+AGC） 1ルクス（ナイトアイモード、シャッタースピード：1/2～1/250）		
液晶画面	2.7型ワイド、12.3万画素、ポリシリコンカラー液晶		
ライト	推奨撮影距離：1.5m以下、LEDタイプ		
ズーム	動画撮影時	光学ズーム：等倍～35倍 ダイナミックズーム：36倍～40倍 デジタルズーム：41倍～200倍	
	静止画撮影時	光学ズーム：等倍～35倍	

端子部	
AV端子	映像：アナログ出力 音声：ステレオ、アナログ出力
USB端子	ミニUSB-ABタイプ、USB 2.0

内蔵メモリー部	
容量	16GB

ACアダプター(AP-V20)	
電源	AC 100V–240V、50Hz/60Hz
出力	DC 11V、1A
許容動作温度	0℃〜40℃(充電時は10℃〜35℃)
外形寸法(mm)	78×34×46(幅×高さ×奥行き)(コードとACプラグを含まず)
質量	約100g

バッテリー(BN-VF808)	
電圧	DC 7.2V
容量	730mAh
外形寸法(mm)	30.5×18×52(幅×高さ×奥行き)
質量	約45g

時計用電池	
種類	一次電池

リモコン(RM-V751)	
種類	DC3V(ボタン電池 CR2025)
電池寿命	約1年(使用頻度により変わる)
動作距離	約5m(正面軸上)
許容動作温度	0℃〜40℃
外形寸法(mm)	42×14.5×91(幅×高さ×奥行き)
質量	約30g(ボタン電池を含む)

静止画	
記録方式	JPEG準拠
拡張子	.JPG
画像サイズ	(P.24)
画質	ファイン/スタンダード
記録メディア	内蔵メモリー、SDカード(市販)

動画		
録画/再生方式	SD-VIDEO 規格準拠　MPEG-2(映像)、Dolby Digital(音声)	
拡張子	.MOD	
信号方式	NTSC 日米標準信号方式	
画質・音質	ウルトラファイン	720ピクセル×480ピクセル、8.5Mbps VBR(映像)、48kHz、384kbps(音声)
	ファイン	720ピクセル×480ピクセル、5.5Mbps VBR(映像)、48kHz、384kbps(音声)
	ノーマル	720ピクセル×480ピクセル、4.2Mbps VBR(映像)、48kHz、256kbps(音声)
	エコノミー	352ピクセル×240ピクセル、1.5Mbps VBR(映像)、48kHz、128kbps(音声)
記録メディア	内蔵メモリー、SDカード(市販)	

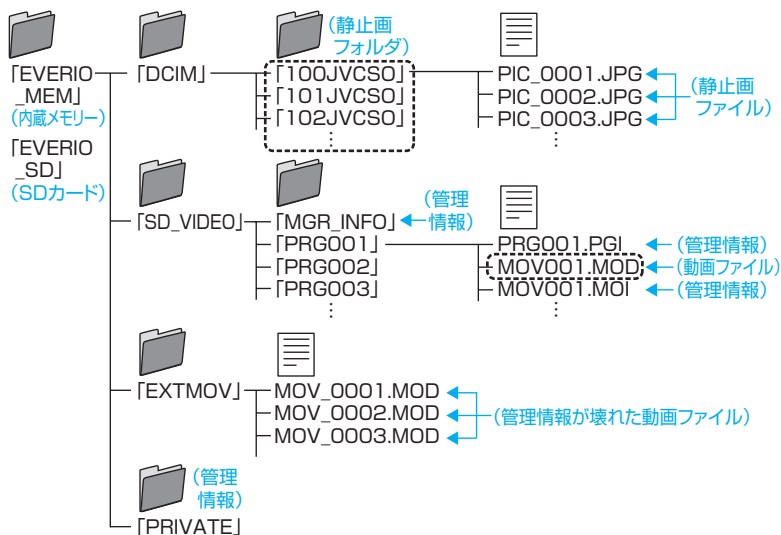
●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

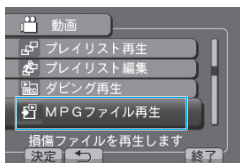
技術情報

フォルダとファイルの一覧

内蔵メモリーとSDカードには、フォルダとファイルが次のように作成されます。
フォルダとファイルは、必要になったときに作成されます。

「EVERIO_MEM」（内蔵メモリー）
「EVERIO_SD」（SDカード）

- 「DCIM」
  - 「100JVCSO」（静止画フォルダ）
    - PIC_0001.JPG（静止画ファイル）
    - PIC_0002.JPG（静止画ファイル）
    - PIC_0003.JPG（静止画ファイル）
    - ⋮
  - 「101JVCSO」
  - 「102JVCSO」
  - ⋮
- 「SD_VIDEO」
  - 「MGR_INFO」（管理情報）
  - 「PRG001」
    - PRG001.PGI（管理情報）
    - MOV001.MOD（動画ファイル）
    - MOV001.MOI（管理情報）
    - ⋮
  - 「PRG002」
  - 「PRG003」
  - ⋮
- 「EXTMOV」
  - MOV_0001.MOD（管理情報が壊れた動画ファイル）
  - MOV_0002.MOD（管理情報が壊れた動画ファイル）
  - MOV_0003.MOD（管理情報が壊れた動画ファイル）
- 「PRIVATE」（管理情報）

■管理情報が壊れた動画を見るとき

➡「MPGファイル再生」（P.84）

お知らせ ●上記のフォルダやファイルの削除・移動・名前の変更などをパソコンで行うと、本機で再生できなくなります。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

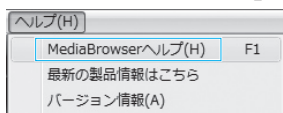
他社製品の登録商標と商標について

・本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
・Dolby、ドルビー、ダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
・YouTubeとYouTubeロゴは、YouTube LLC.の商標および商標登録です。
・Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・iPod、iTunesは、米国およびその他の国で登録された米国Apple,Inc.の商標です。
・Intel Core、Pentium、Celeronは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
・その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークと®マークを明記していません。

著作権について

・録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

付属ソフトで困ったときは…

■Everio MediaBrowserの使いかた
➡「ヘルプ」メニューの「MediaBrowserヘルプ」

■ご利用になれるパソコン
➡(P.71)

■付属ソフトのインストール
➡(P.72)

付属のソフトの操作などで困ったときは、下記へお問い合わせください。
(パソコン本体の操作がわからないときは、パソコンの取扱説明書をご覧ください)

「Everio MediaBrowser」のお問い合わせ先

株式会社ピクセラ

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中
2-10-70　パークスタワー25階

■ご連絡いただきたい内容

・パソコン(Windows)のOSバージョン
例:Windows XP
・問題が発生したときの詳しい状況

■お問い合わせ方法

電話での問い合わせ

電話番号:0570-02-3500
(ナビダイヤルが使用できない場合)
06-6633-2990
受付時間:10:00～18:00
(年末年始、祝日、ピクセラ社所定休日は除く)

FAXでの問い合わせ

FAX番号:06-6633-2992
受付時間:24時間

「フォト・ナビゲーター」のお問い合わせ先

日本ビクター株式会社

DVご相談窓口

■ご連絡いただきたい内容

・パソコン(Windows)のOSバージョン
例:Windows XP
・問題が発生したときの詳しい状況

■お問い合わせ方法

電話での問い合わせ

電話番号:045-450-2770

インターネットでの問い合わせ

http://www.jvc-victor.co.jp/support/

●ご質問の内容によっては回答までにお時間がかかることがあります。なお弊社では、お使いのパソコンについての基本的な操作方法、OS、ほかのアプリケーション、ドライバの仕様やその動作に関する事項などについては、一切お答えできません。
●ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて(P.106)

別売アクセサリー

別売アクセサリー

詳しくは、カタログをご覧ください。

バッテリーパック	BN-VF808
バッテリーパック	BN-VF815
バッテリーパック	BN-VF823
バッテリーチャージャー	AA-VF8

バッテリーキット	VU-V840KIT※
バッテリーキット	VU-V863KIT※
DCコード	VC-VBN800
DVDライター	CU-VD3
DVDライター	CU-VD50

※ VU-V840KITとVU-V863KITは、バッテリーを本機に直接取り付けずに、付属のポーチに入れたバッテリーを、別売のDCコード(VC-VBN800)で本機と接続して使います。

バッテリーの処分について

● バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。

・お問い合わせ：有限責任中間法人JBRC　http://www.jbrc.net/hp/

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

さくいん

英字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

保証とアフターサービス

修理を依頼される場合(持込修理)

「故障かな?!と思ったら…」(P.90)にしたがって、まずご確認を。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーとACアダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
本機や付属品、SDカードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名:ビデオカメラ
2. 型名:表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■保証期間中は
保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●修理の際は、取扱説明書の次ページをコピーしたものに、必要事項をご記入の上、本機に添付してください。

保証書(別添付)

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書は大切に保管してください。

性能部品の最低保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●ご不明な点や
修理に関するご相談は…
お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口案内」(別紙)にご相談ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

同意書

データのお取り扱いについて

当社は、不具合を改善するため、お客様からお預りした記録媒体内のデータを必要最小限の範囲で確認いたします。しかし、データを複製することや、修理担当者以外の者が閲覧することはありません。

お預かりした商品につきましては細心の注意を払ってお取り扱いします。しかし、修理過程でデータが消失する場合や、故障の状態によって内蔵メモリーの初期化（フォーマット）や交換が必要となる場合があります。そのため、事前にバックアップしておかれることをおすすめします。

■商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
■万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
■品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

以上の「データのお取り扱いについて」に関しまして、ご理解とご同意をお願いいたします。ご同意いただけない場合、不具合箇所によっては修理できないままお返しすることがあります。あらかじめご了承ください。

どちらかに✓マークをお願いします。
□同意する　□同意しない
日付：　　年　　月　　日
ご署名：

修理や点検を依頼されるときは、この同意書のコピーにご記入のうえ、商品に添付してください。

日本ビクター株式会社
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

■製品についてお困りのことがありましたら・・・

「故障かな!?と思ったら・・・」(P.90～P.94)
「こんな表示がでたら・・・」(P.95～P.97)
をお読みいただき、動作をご確認ください。

ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは
ビデオカメラサポート情報
http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/support/

取扱い方法などのご相談

お客様ご相談センター

0120-2828-17

●携帯電話・PHSからは、
次の電話番号をご利用ください
045-450-8950

技術的なご相談

DVご相談窓口

☎ **045-450-2770**

修理や付属品購入などのご相談

同梱の青い紙の
「ビクターサービス窓口案内」
から最寄りの「ご相談窓口」に
お問い合わせください

ソフトウェアEverio MediaBrowserのご相談

ピクセラユーザーサポートセンター

☎ **0570-02-3500**

(ナビダイヤルが使用できない場合)
06-6633-2990

ホームページ
http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.106をご覧ください。

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

M9S3 1208MKH-HT-VM